みんなで取り組む環境アクション！

令和８年８月
山形県長井市

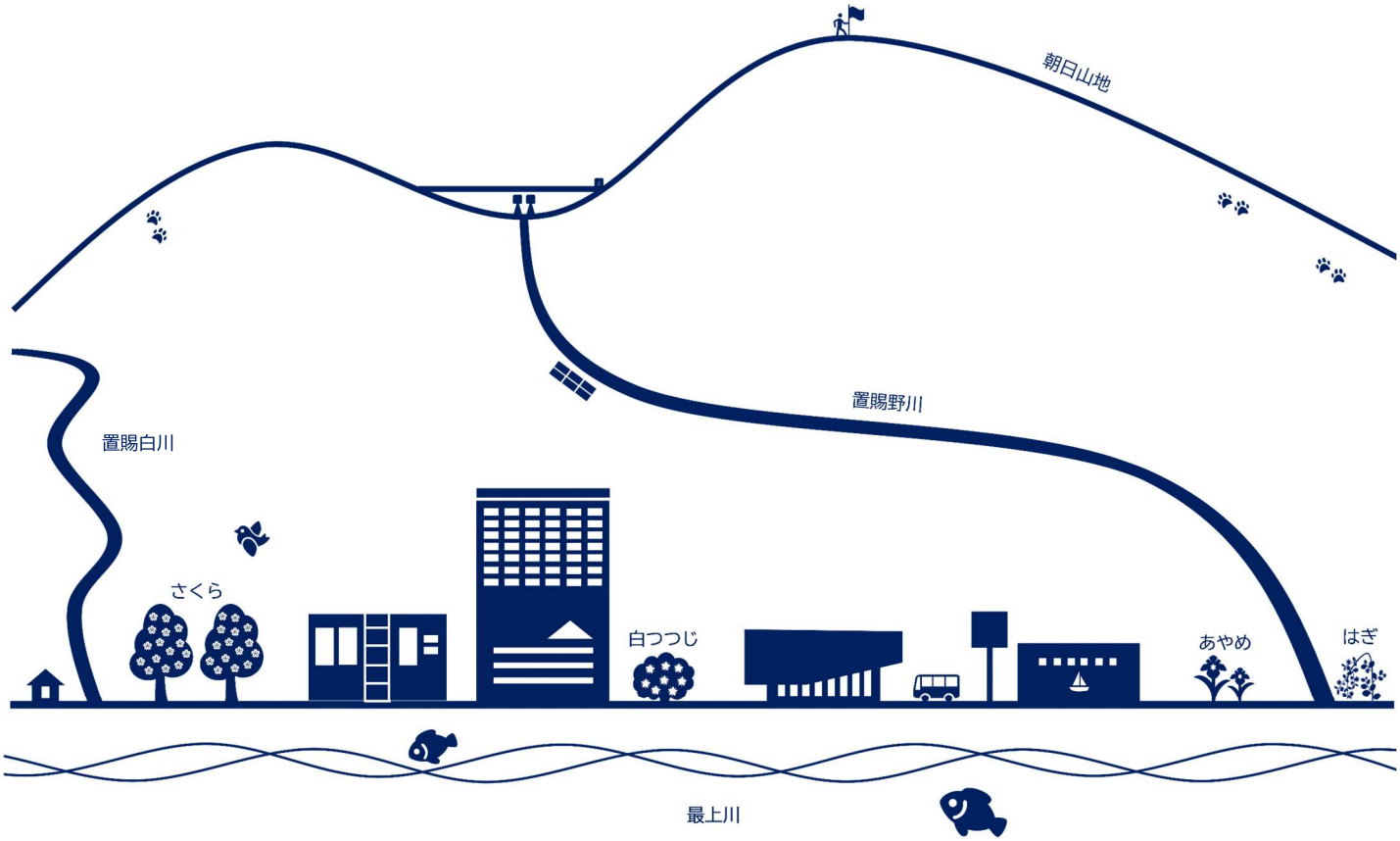
第　４　次

長　井　市

環　境　基　本　計　画

2024　▷　2033

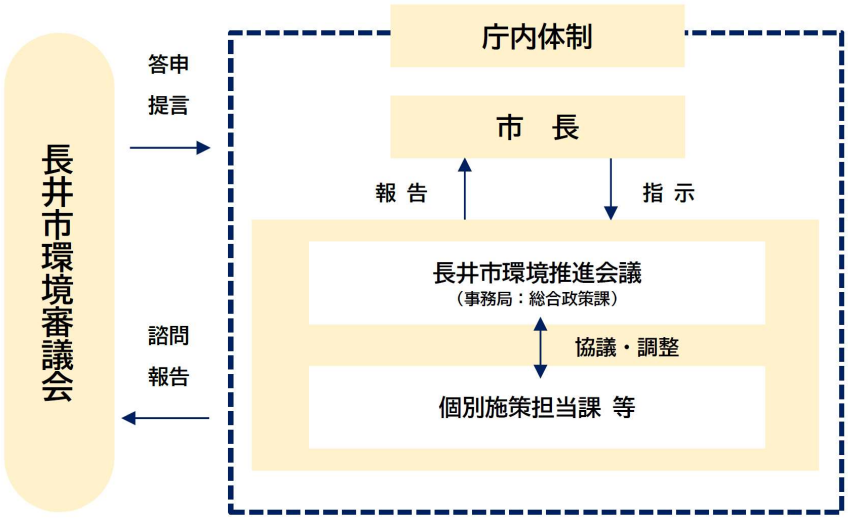
令和７(2025)年度　年次報告書



令和７(2025)年度 年次報告書について

「第４次長井市環境基本計画」（令和６年３月策定）の「第７章　計画の推進」で定めた推進体制及び進行管理に基づき、年度毎に年次報告書として取りまとめ、市民・事業者等に公表するものです。

１　推進体制図（第７章 P85 抜粋）

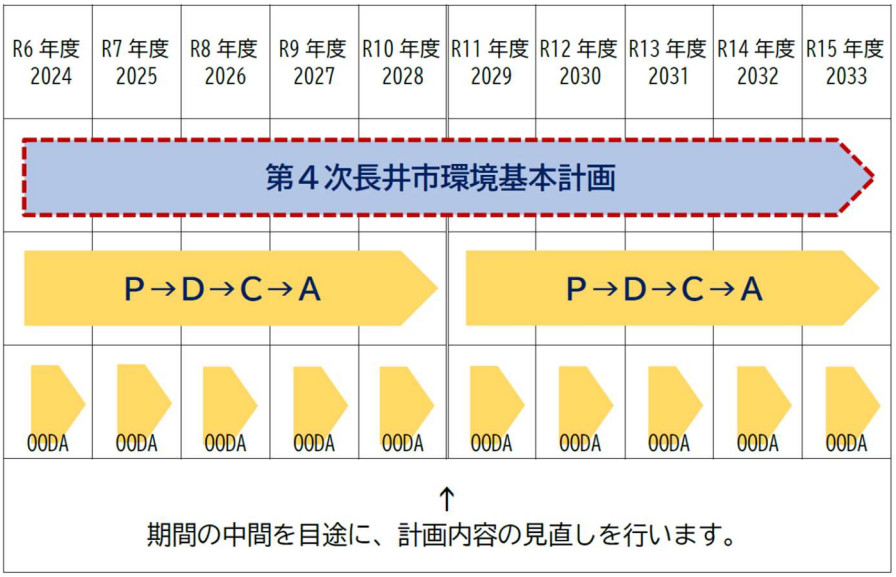


２　進行管理（第７章 P86 抜粋）

本計画については、取組みの効果の発現までに、一定の時間を要することから、ＰＤＣＡサイクルを用いて点検・評価を行い、進捗状況を管理します。

また、急激な気候変動や社会情勢の変化、上位計画の大幅な見直しがあった場合など、常に環境全般に関する実態を把握し、行動に転換する仕組みが重要です。
このため、数値目標とアクションについては、ＯＯＤＡループの考え方に基づき、年度毎に検証するとともに必要に応じて迅速な見直しを行うものとします。

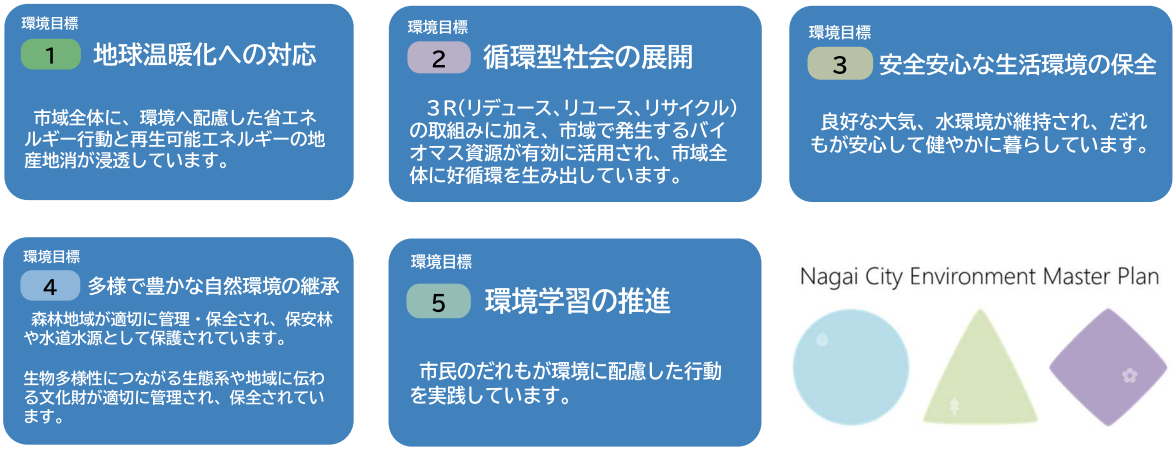
計画の点検・評価方法について



3　点検項目

①　第４次長井市環境基本計画について

環境目標１から５までの数値目標(指標)に対する進捗状況、主な取り組み及び今後の方針等を記載します。



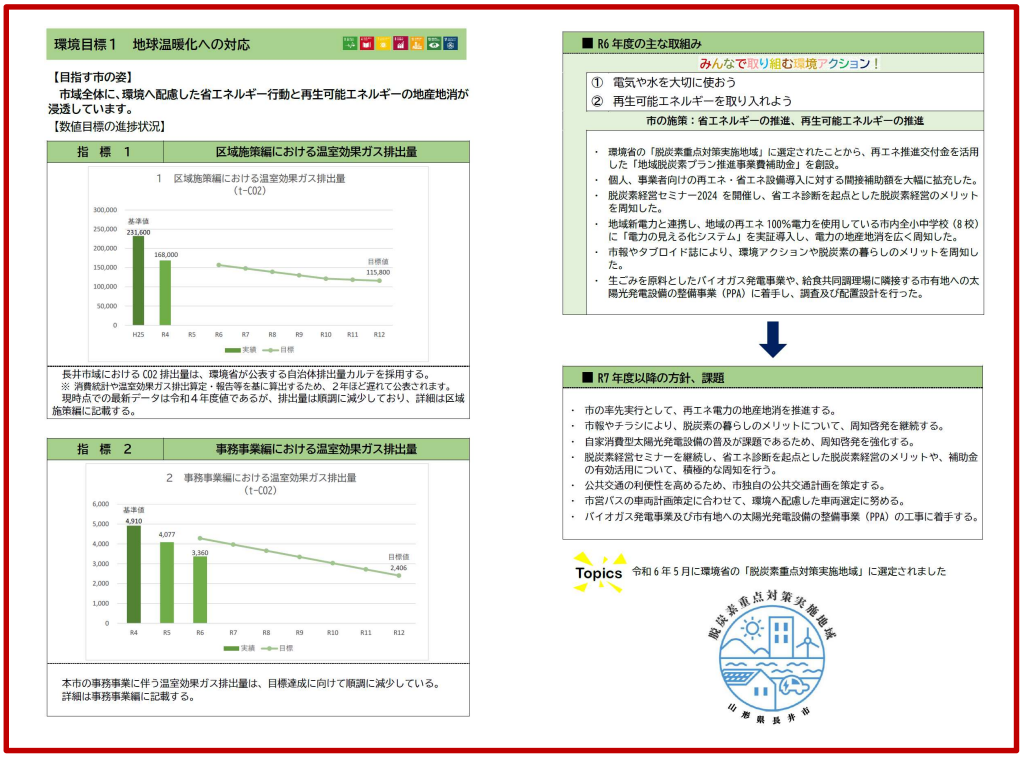
②　区域施策編について

地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく地方公共団体実行計画（区域施策編）の温室効果ガスの削減目標（2030 年度までに 50%削減）及び数値目標に対する進捗状況、主な取り組み及び今後の方針等を記載します。

③　事務事業編について

地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく地方公共団体実行計画（事務事業編）の温室効果ガスの削減目標（2030 年度までに 51%削減）及び数値目標に対する進捗状況、主な取り組み及び今後の方針等を記載します。

点検様式の記載（例）：環境目標１「地球温暖化への対応」


環境目標１　地球温暖化への対応

【目指す市の姿】
市域全体に、環境へ配慮した省エネルギー行動と再生可能エネルギーの地産地消が浸透しています。
【数値目標の進捗状況】

指　標　1　区域施策編における温室効果ガス排出量

1　区域施策編における温室効果ガス排出量 (t-CO2)

長井市域における CO2 排出量は、環境省が公表する自治体排出量カルテを採用する。
※ 消費統計や温室効果ガス排出算定・報告等を基に算出するため、２年ほど遅れて公表されます。
現時点での最新データは令和４年度値であるが、排出量は順調に減少しており、詳細は区域施策編に記載する。

指　標　2　事務事業編における温室効果ガス排出量

2　事務事業編における温室効果ガス排出量 (t-CO2)

本市の事務事業に伴う温室効果ガス排出量は、目標達成に向けて順調に減少している。
詳細は事務事業編に記載する。

■ R6 年度の主な取組み

みんなで取り組む環境アクション！

① 電気や水を大切に使おう
② 再生可能エネルギーを取り入れよう

市の施策：省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの推進

- 環境省の「脱炭素重点対策実施地域」に選定されたことから、再エネ推進交付金を活用した「地域脱炭素プラン推進事業費補助金」を創設。
- 個人、事業者向けの再エネ・省エネ設備導入に対する開接補助額を大幅に拡充した。
- 脱炭素経営セミナー2024 を開催し、省エネ診断を起点とした脱炭素経営のメリットを周知した。
- 地域新電力と連携し、地域の再エネ 100%電力を使用している市内全小中学校（8 校）に「電力の見える化システム」を実証導入し、電力の地産地消を広く周知した。
- 市報やタブロイド誌により、環境アクションや脱炭素の暮らしのメリットを周知した。
- 生ごみを原料としたバイオガス発電事業や、給食共同調理場に隣接する市有地への太陽光発電設備の整備事業（PPA）に着手し、調査及び配置設計を行った。

■ R7 年度以降の方針、課題

- 市の率先実行として、再エネ電力の地産地消を推進する。
- 市報やチラシにより、脱炭素の暮らしのメリットについて、周知啓発を継続する。
- 自家消費型太陽光発電設備の普及が課題であるため、周知啓発を強化する。
- 脱炭素経営セミナーを継続し、省エネ診断を起点とした脱炭素経営のメリットや、補助金の有効活用について、積極的な周知を行う。
- 公共交通の利便性を高めるため、市独自の公共交通計画を策定する。
- 市営バスの車両計画策定に合わせて、環境へ配慮した車両選定に努める。
- バイオガス発電事業及び市有地への太陽光発電設備の整備事業（PPA）の工事に着手する。

Topics　令和６年５月に環境省の「脱炭素重点対策実施地域」に選定されました

脱炭素重点対策実施地域
山形県長井市

目　次

第４次長井市環境基本計画

第４次長井市環境基本計画の施策体系 …… 1

環境目標１　地球温暖化への対応 …… 3
　環境アクション①　電気や水を大切に使おう
　環境アクション②　再生可能エネルギーを取り入れよう

環境目標２　循環型社会の展開 …… 5
　環境アクション③　廃棄物をなくそう
　環境アクション④　分別を徹底しよう
　環境アクション⑤　資源を循環させよう

環境目標３　安全安心な生活環境の保全 …… 8
　環境アクション⑥　住み心地の良いまちにしよう
　環境アクション⑦　きれいな川を守ろう

環境目標４　多様で豊かな自然環境の継承 …… 11
　環境アクション⑧　豊かな自然環境を大切にしよう

環境目標５　環境学習の推進 …… 14
　環境アクション⑨　環境について考えよう
　環境アクション⑩　みんなで一緒に取り組もう

地球温暖化対策実行計画　区域施策編 …… 17

　温室効果ガス排出量、各部門における省エネルギー活動、
　再生可能エネルギーの導入・拡大、森林吸収量の確保に向けた取組み

地球温暖化対策実行計画　事務事業編 …… 25

　温室効果ガス排出量、エネルギー種別毎の削減に向けた取組み、
　電力排出係数の削減に向けた取組み

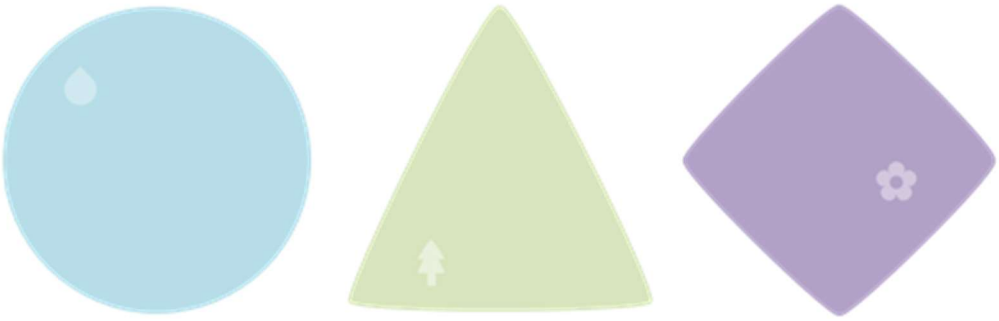
第　４　次

長　井　市

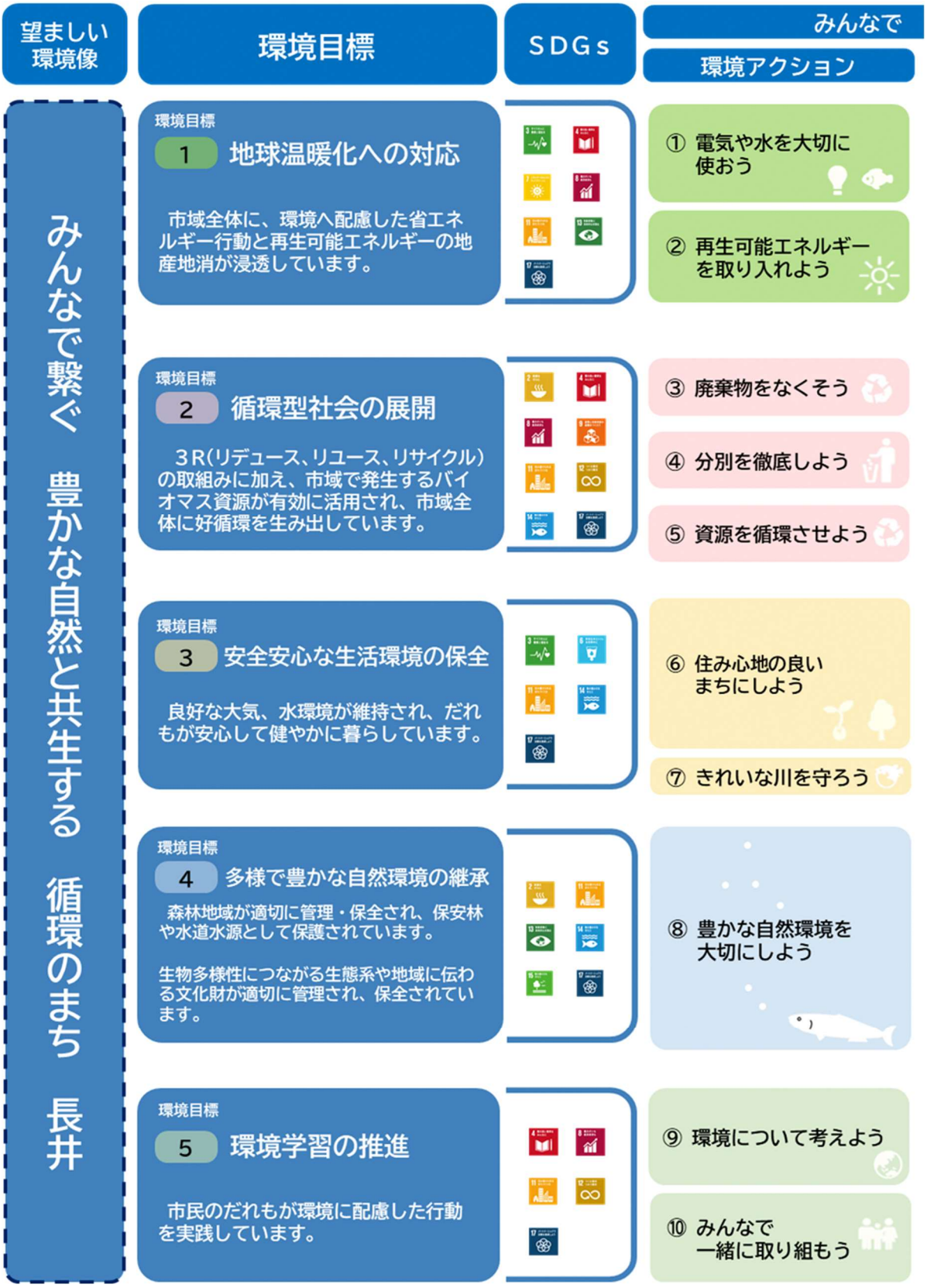
環　境　基　本　計　画

環　境　目　標　１　～　５

Nagai City Environment Master Plan



第４次長井市環境基本計画の施策体系



取り組む環境アクション

市の施策

省エネルギーの推進	・市の事務事業における温室効果ガス排出量を抑制します。 ・市民に向けて省エネにつながるライフスタイルを提案します。 ・事業所での省エネ診断を推進します。 ・公共交通の利便性を高め、利用の推進を図ります。
再生可能 エネルギーの推進	・再生可能エネルギーを活用したエネルギーの創出に取り組みます。 ・再生可能エネルギー由来の電力の購入・活用を推進します。 ・学校教育施設においてエネルギーの見える化を行い、環境学習を推進します。 など
廃棄物の削減	・毎年度「一般廃棄物処理実施計画」を策定し、市民に適切なごみの分別と減量化を呼び掛けます。 ・食品ロス削減のため、フードドライブを実施します。　など
リサイクル率の向上	・市民が分別に取り組みやすいよう、分かりやすい情報提供に努めます。 ・有価物集団回収による再資源化を促進するとともに、持続的な集団回収の在り方を検討します。　など
資源循環の推進	・生ごみや食品残渣等のバイオマス資源を堆肥や液肥に変えて、持続的な農業を推進します。　など
公害等の発生防止	・大気中におけるダイオキシン類のモニタリングを継続します。　など
廃棄物の適正な処理	・不法投棄監視の巡回パトロールを実施し、モラル向上を啓発します。　など
空き家の適正な管理	・危険な空き家等は所有者へ除却を促します。　など
憩いの場の創出	・河川空間の利活用や親水空間の整備により市民の憩いの場を創出します。　など
水環境の保全	・台所などからの汚濁負荷を低減するための方法など、水環境の保全について市民に広報します。　など
森林の保全	・市行造林や公社造林を継続し、森林地域を保全します。　など
農地等の保全	・循環を基調とした環境保全型農業を推進します。　など
水道水源の保護	・良質な水質を維持するために、水道水源の保護に努めます。 など
生物多様性の保全	・野生動物との棲み分けのため、緩衝地帯となる里山の保全を図ります。 ・天然記念物の保護を推進します。　など
歴史文化遺産の継承など	・長井市文化財保存活用地域計画作成と運用により、史跡・天然記念物の保全を推進します。 ・自然とのふれあいの場の整備と適正な管理を行います。　など
環境学習の機会の提供	・市民に向けて環境保全やSDGsに関する学習の機会を創出します。 ・市民や事業者とともに情報交換や環境に対する意識醸成の場を創出します。　など
環境保全活動の推進	・市民の自主的な環境保全活動を支援します。 ・環境に配慮した事業活動を支援します。 ・花いっぱい運動や河川清掃など、より多くの市民が参加したくなる活動方法を検討します。など

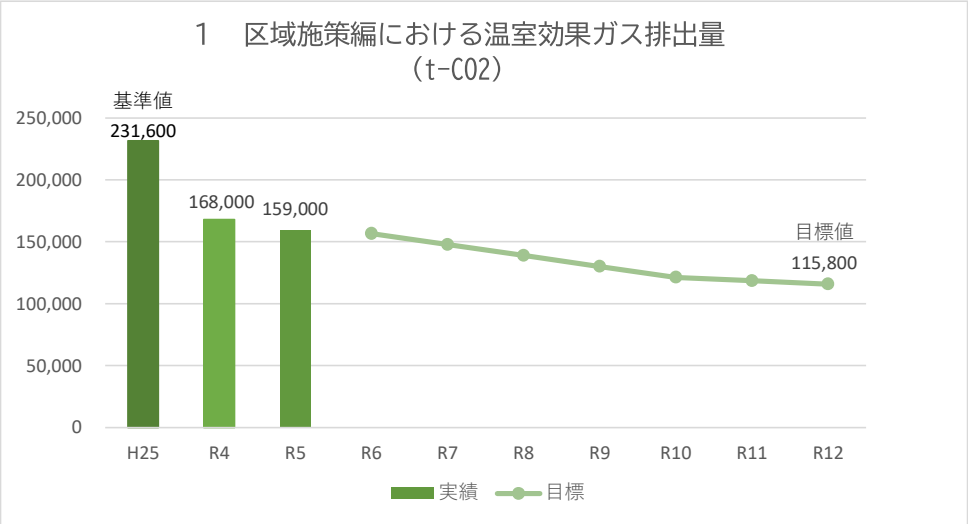
環境目標１　地球温暖化への対応

【目指す市の姿】

市域全体に、環境へ配慮した省エネルギー行動と再生可能エネルギーの地産地消が浸透しています。

【数値目標の進捗状況】

指　標　１	区域施策編における温室効果ガス排出量（総合政策課）



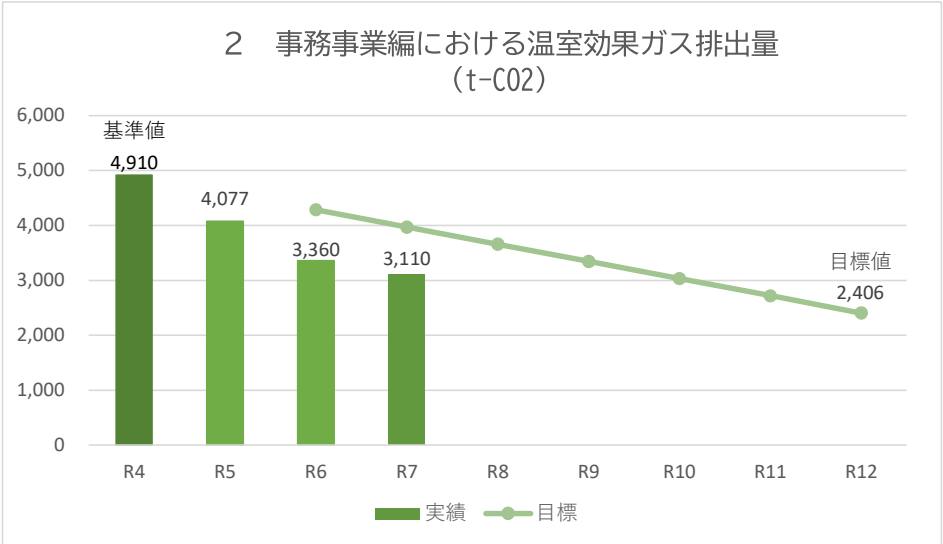
☑達成・☐未達成

最新値（R5）は前年度比９千ｔ減であり、うち７千ｔが家庭部門からの削減となっている。

要因として、燃料価格の高騰や高効率家電等の普及による節電効果、再エネシフトによる電力の CO2 排出係数の低減化等が挙げられる。

※　本市区域における温室効果ガス排出量は、環境省が公表する自治体排出量カルテを採用しており、２年ほど遅れて公表されるため、現時点での最新データは令和５年度値である。

指　標　２	事務事業編における温室効果ガス排出量（総合政策課）



☑達成・☐未達成

公共施設で使用しているエネルギー種別の中で、約７割を占める電気使用量の減少が温室効果ガス排出量の削減に大きく影響している。詳細は、事務事業編に記載する。

■ R7 年度の主な取組み

みんなで取り組む環境アクション！

① 電気や水を大切に使おう

② 再生可能エネルギーを取り入れよう

市の施策：省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの推進

・ 環境省「脱炭素重点対策実施地域」の選定（R6～R11）により下記事業を実施した。

ⅰ） 市民・事業者向け「地域脱炭素プラン推進事業費補助金」の継続。
R7 実績：太陽光設備(個人)5 件、蓄電池 3 件、薪・ペレットストーブ 16 件、
空調機器 9 件、LED 照明機器 4 件

ⅱ） 給食共同調理場に隣接する市有地に自家消費型太陽光発電設備（パネル容量 234kW）をオンサイト PPA 方式により設置。

ⅲ） レインボープランコンポストセンター内において、バイオガス発電設備整備事業の第 1 期工事が完了。

・ 市報において 6 月、9 月、12 月、3 月の 4 回コラムを掲載。

■ R8 年度以降の方針、課題

・ 長井産の給食米に加え、長井産の再生可能エネルギー電力 100%を使って調理する「RE100 給食」を全国初の取組みとして市内外へ PR する。
・ バイオガス発電設備の試運転を開始予定。
・ 学校施設での電力の見える化を継続する。
・ 令和 7 年度末に策定した長井市地域公共交通計画に基づき、利便性の向上を図る。
・ 市営バスの車両更新の際は、環境へ配慮した車両選定に努めていく。

Topics

令和 8 年 3 月に完成した給食共同調理場に隣接する太陽光発電所
（PPA 方式によりおきたま新電力（株）が設置）



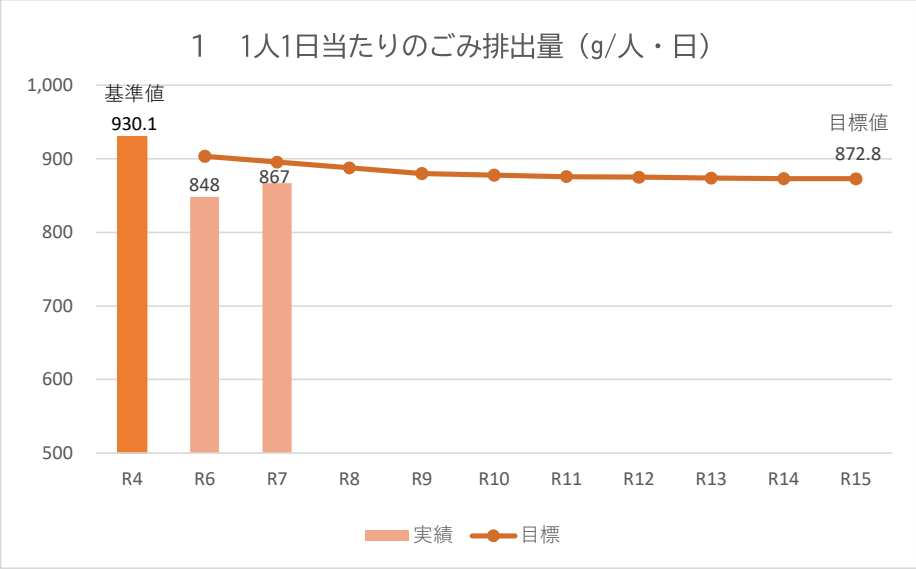
環境目標２　循環型社会の展開

【目指す市の姿】

３Ｒ（リデュース、リユース、リサイクル）の取組みに加え、市域で発生するバイオマス資源が有効に活用され、市域全体に好循環を生み出しています。

【数値目標の進捗状況】

指　標　１	１人１日当たりのごみ排出量（市民課）

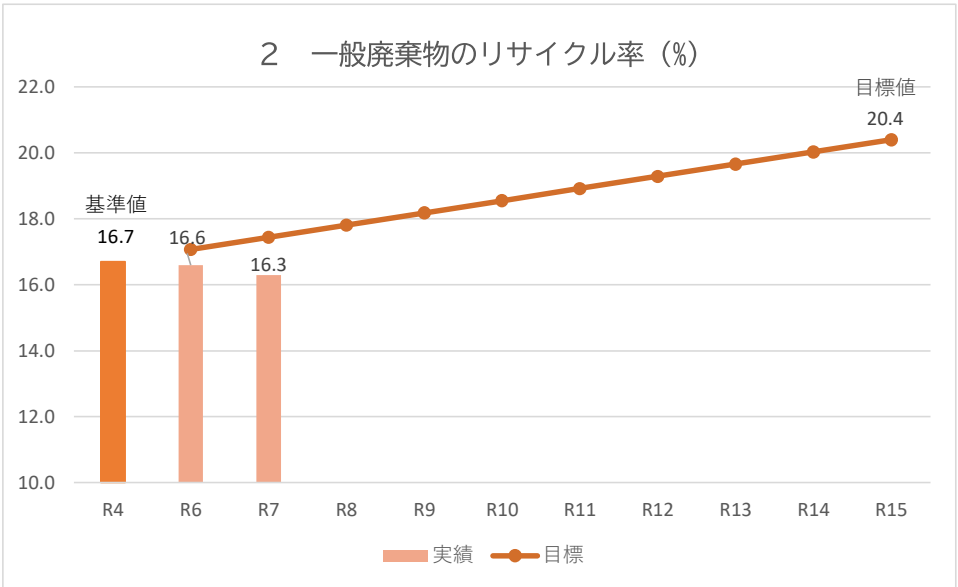


☑達成・☐未達成

１人１日当たりのごみ排出量は、前年度より増加したが目標値を下回っている。

※　（参考データ）可燃ごみ量　令和４年度　6,623t　→　令和７年度　5,926t

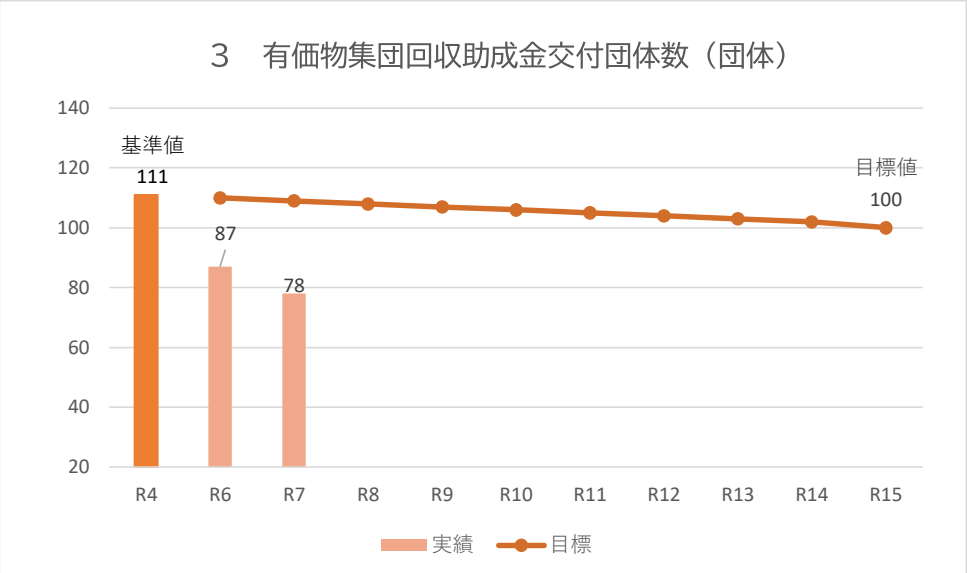
指　標　２	一般廃棄物のリサイクル率（市民課）



☐達成・☑未達成

一般廃棄物のリサイクル率には、スーパー等での店頭回収量が反映されていないため、実態に合った実績値の計上方法について、令和 10 年度の中間見直しまでに整理していく。

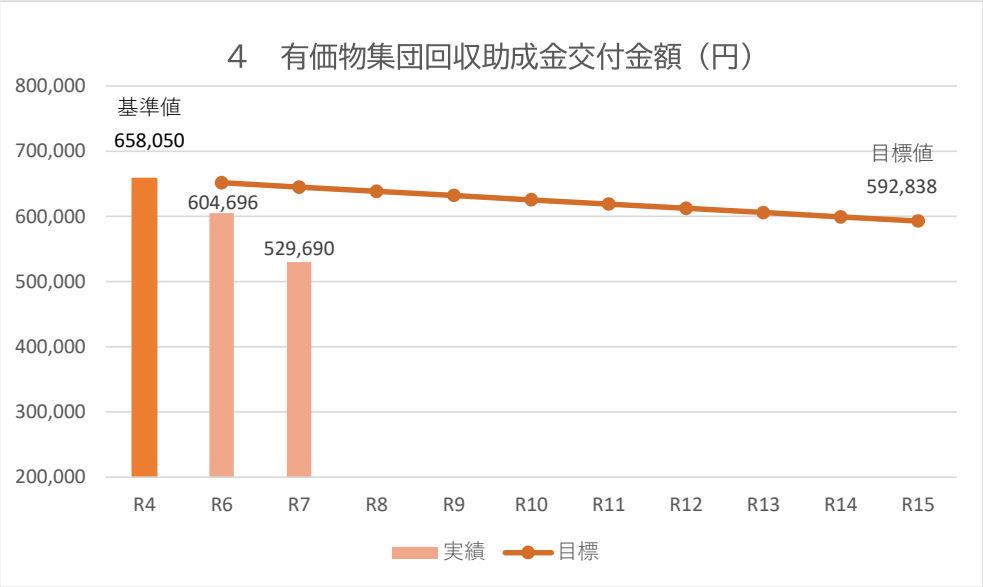
指　標　3	有価物集団回収助成金交付団体数（市民課）



□達成・☑未達成

子ども会育成会主催で実施している団体が多いが、年々活動が縮小傾向にあるため、地区事業としての取組みを促すなど対策を講じる必要がある。

指　標　4	有価物集団回収助成金交付金額（市民課）



□達成・☑未達成

助成金交付団体数減に比例し、交付金額も減少している。有価物集団回収に取り組む団体が増となるよう対策を講じる必要がある。

■ R7 年度の主な取組み

みんなで取り組む環境アクション！

③　廃棄物をなくそう
④　分別を徹底しよう
⑤　資源を循環させよう

市の施策：廃棄物の削減、リサイクル率の向上、資源循環の推進

- 長井市ごみ処理基本計画に従いごみ排出量の把握に努め、分別や出し方について住民周知を行った。
- 山形県（置賜総合支庁）が実施するフードドライブを市民へ周知し協力を求めた。
- 有価物集団回収助成金を継続し、集団回収の必要性の周知と実施の喚起を図った。
- 再資源化ごみの収集について広く周知し、リサイクル率向上に努めた。
- 歴年のごみ収集量をデータ化し、各地区の廃棄物減量等推進員に対し情報提供を行った。

■ R8 年度以降の方針、課題

- バイオガス発電設備を起点とした新しい循環型地域づくりにより、レインボープランに変わる生ごみ資源循環を継続する（令和 8 年度 試運転開始予定）。
- 有価物集団回収について、子供会育成会に限らず、地区事業としての実施を促していく。
- ごみ削減ポスターコンクールを継続し、市内小中校生にごみ問題等についての意識付けや注意喚起につなげる。
- リサイクル率の向上に向け、廃食油を活用する取組みの支援を行うほか紙おむつの再資源化等、情報収集を進める。

Topics　バイオガス発電を起点とした新しい循環型地域づくり





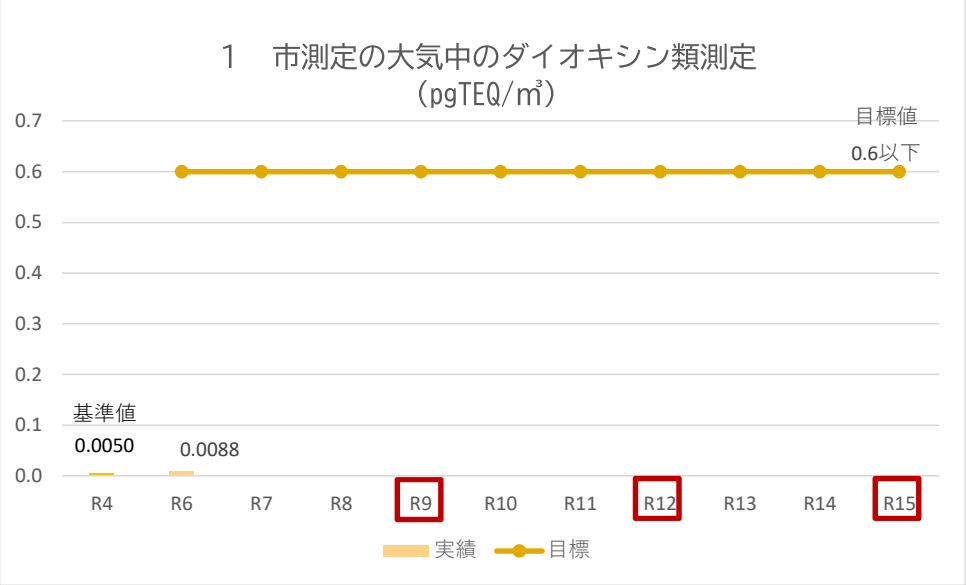
環境目標３　安全安心な生活環境の保全

【目指す市の姿】

良好な大気、水環境が維持され、だれもが安心して健やかに暮らしています。

【数値目標の進捗状況】

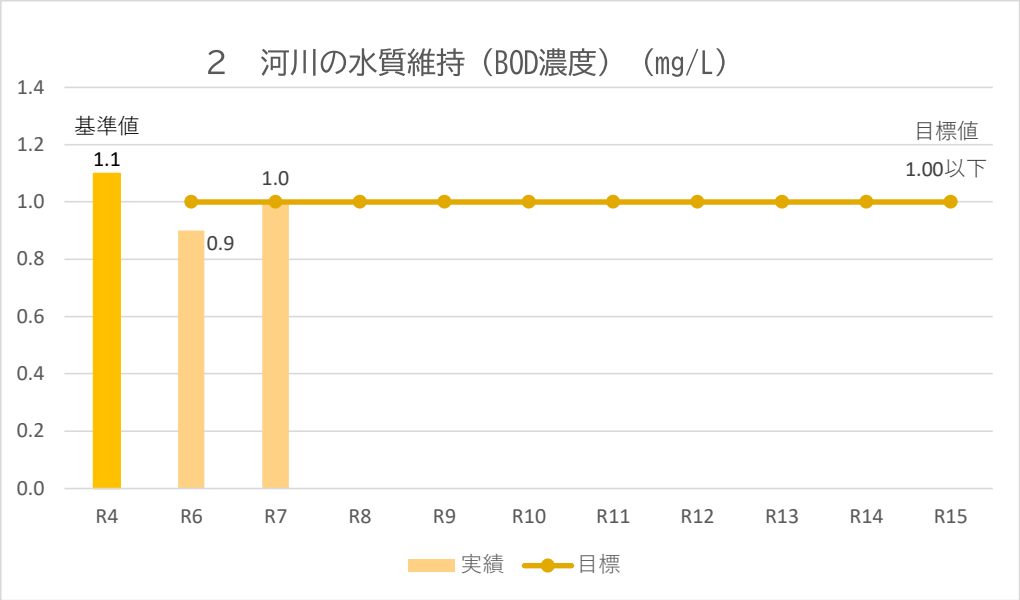
指　標　１	市測定の大気中のダイオキシン類測定（市民課）



☑達成・□未達成

市による大気中のダイオキシン類測定は、目標値を大幅に下回っていることから、令和 6 年度以降 3 年に 1 度の計測とした。次回測定は令和 9 年度を予定している。

指　標　２	河川の水質維持（BOD 濃度）（上下水道課）



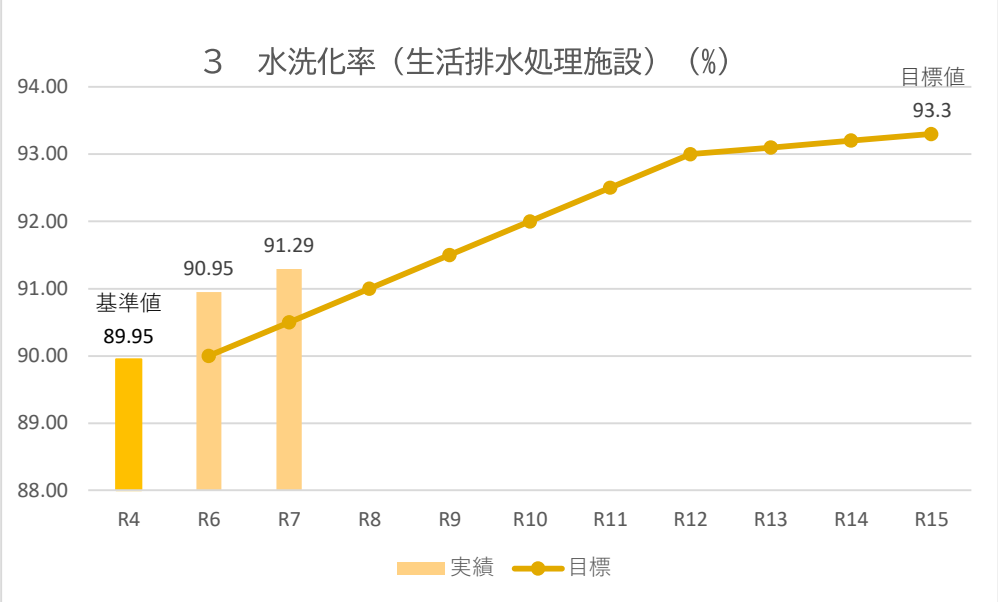
☑達成・□未達成

水質検査地点は、置賜野川・野川橋地点である。月次検査において、最も高い数値を年度の実績値としている。令和 7 年度実績は 8 月の検査値である。

※　BOD 濃度：水の中の有機物が微生物によって分解されるときに消費される酸素の量を示す指標。

※　とてもきれいな水を示す「1.00 以下」となり、良好な水質である。

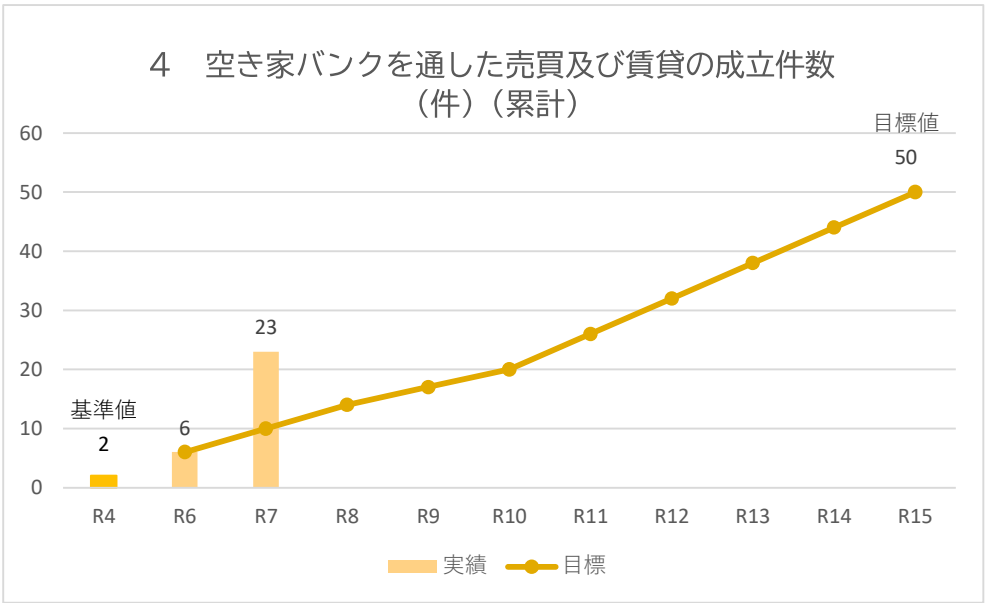
指　標　3	水洗化率（生活排水処理施設）（上下水道課）



☑達成・☐未達成

未接続者向けに PR 用チラシの作成や、戸別訪問を実施した結果、特に西根地区、致芳地区において、特別環境保全公共下水道への接続者増につながったことで水洗化率が向上した。

指　標　4	空き家バンクを通した売買及び賃貸の成立件数（累計）（地域づくり推進課）



☑達成・☐未達成

専門員の配置により空き家バンクの充実が図られ、売買や賃貸の成立件数の伸びにつながった。

■ R7 年度の主な取組み

みんなで取り組む環境アクション！

⑥　住み心地の良いまちにしよう

⑦　きれいな川を守ろう

市の施策：　公害の発生防止、廃棄物の適正な処理、空き家の適正な管理、憩いの場の創出、水環境の保全

- 廃棄物の不法投棄対策として、置賜地区不法投棄防止対策協議会と連携し年 2 回のパトロールのほか看板設置やチラシ配布を行った。また住民通報があった際は現地で指導を行った。
- 家畜排泄物については、関係機関と連携し、防疫注射時に適切な処理について指導を行った。
- 地域の安全及び安心の確保、生活環境の向上を図るため、危険な空き家の除却（解体）工事に要する経費に対して補助金を交付し、除却を促した。
- 空き家バンクの整備、充実に努め、空き家の利用促進を図った。
- 都市公園の適切な環境保全を実施した。
- 令和 6 年度に策定した長井市水辺まちづくり計画に基づき、令和 7 年度は最上川河川緑地整備（道の駅「川のみなと長井」周辺整備）の実施設計を実施した。
- 特定環境保全公共下水道区域の未接続世帯で若い世代がいる 24 世帯を対象に個別訪問を実施。また職員向けアンケートを実施し、自宅や実家が未接続(未設置)の職員に対して個別に依頼を行った。

■ R8 年度以降の方針、課題

- 平成 24 年からダイオキシン測定を実施し、問題なく推移している。次回は令和 9 年の実施を予定。
- 公害の発生防止や廃棄物の適正な処理について、関係機関と連携して適切な指導を行う。
- 危険空き家の所有者に対しては除却を促していくとともに、空き家バンクを活用した空き家の利用促進を継続する。
- 令和 6 年度に策定した長井市水辺まちづくり計画に基づき、令和 8 年度は最上川河川緑地整備工事に着手予定。（令和 10 年供用開始予定）

環境目標４　多様で豊かな自然環境の継承

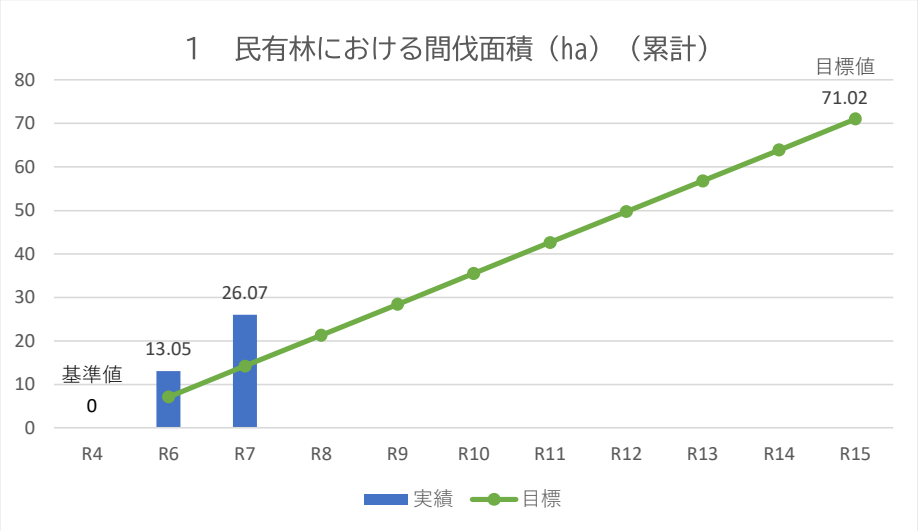
【目指す市の姿】

森林地域が適切に管理・保全され、保安林や水道水源として保護されています。

生物多様性につながる生態系や地域に伝わる文化財が適切に管理され、保全されています。

【数値目標の進捗状況】

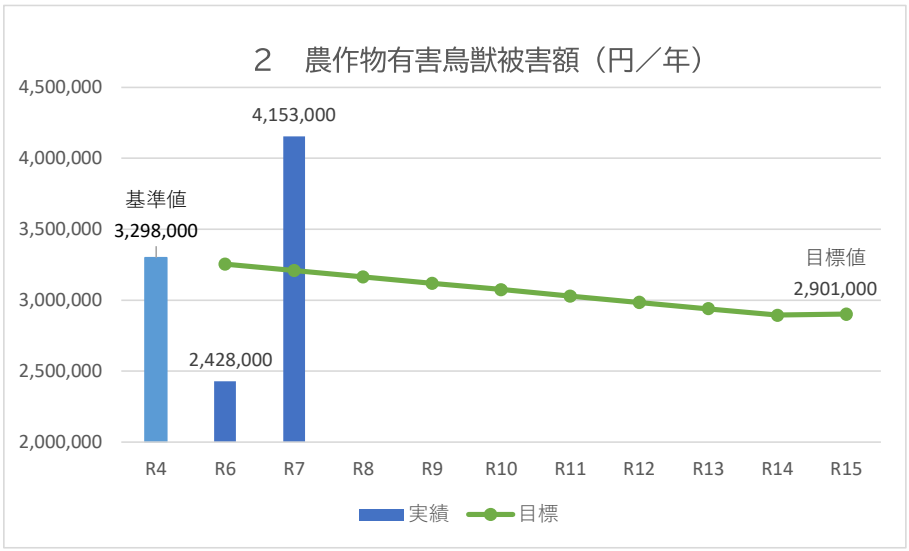
指　標　１	民有林における間伐面積（累計）（農林課）



☑達成・☐未達成

令和７年度に市が実施した間伐面積は 13.02ha である。目標達成に向けて順調に推移している。

指　標　２	農作物有害鳥獣被害額（円／年）（農林課）

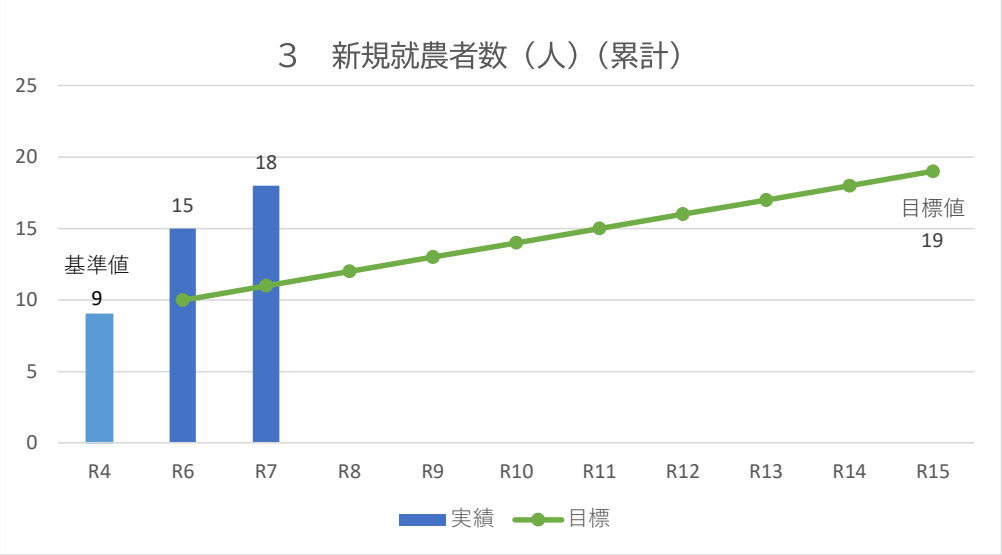


☐達成・☑未達成

令和７年度の有害鳥獣による被害作物は、主に果樹（りんご、西洋なし、おうとう（サクランボ））、野菜（すいか、かぼちゃ）、飼料作物（青刈りとうもろこし（デントコーン））であり、特にクマによる飼料作物の被害額が増大した。

※　（参考）クマ確認件数 441 件（通報、カメラ確認）、捕獲頭数 39 頭（R6 比 30 頭増）

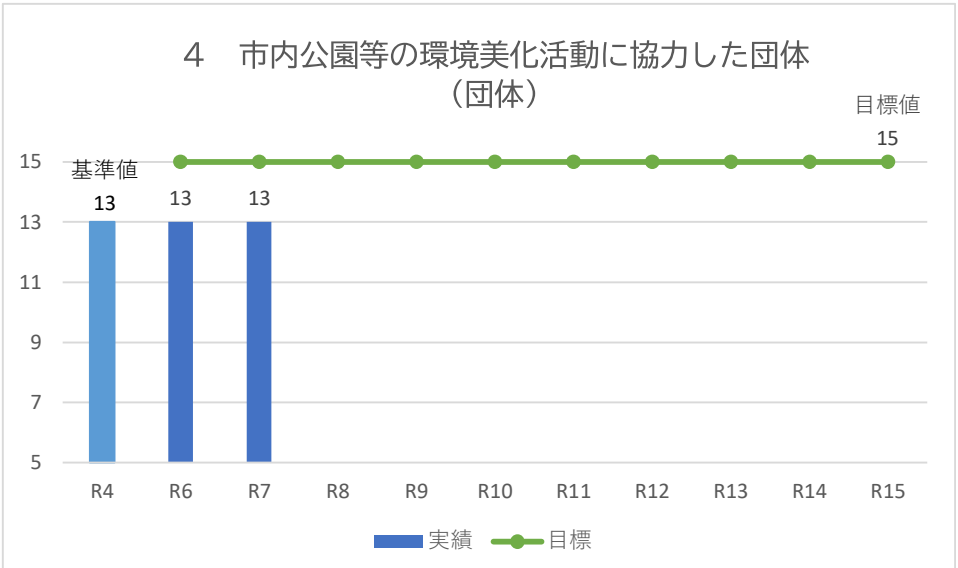
指　標　３	新規就農者数（累計）（農林課）



☑達成・☐未達成

首都圏で開催された「新・農業人フェア」への出展や農業研修生等受入協議会と連携した農業体験など、サポート体制の充実を図ったことが新規就農者数の増につながった。

指　標　４	市内公園等の環境美化活動に協力した団体（観光文化交流課等）



☐達成・☑未達成

市内公園等の環境美化活動に協力した団体数として、市に報告があった実施主体の団体数を計上している。多くの企業が自主参加する夏のクリーン大作戦（主催：長井「小さな親切」の会）もカウントできるよう、中間見直しに向けて指標の整理が必要である。

■ R7 年度の主な取組み

みんなで取り組む環境アクション！

⑧　豊かな自然環境を大切にしよう

市の施策：　森林の保全、農地等の保全、水道水源の保護、生物多様性の保全
歴史文化遺産の継承、その他（自然とのふれあいに関すること）

【森林の保全】
- やまがた緑環境税を活用する交付金事業（みどり豊かな森林環境づくり推進事業）により「第 15 回水と緑の感謝祭」を支援した。（期日　R7.6.29　参加人数　260 人）

【農地等の保全】
- 環境保全型農業直接支払い交付金を活用し、環境保全型農業を推進した。
  （実施面積 … 33,142a）
- 有害鳥獣対策として、ICT 監視カメラや電気柵の設置、緩衝帯の整備、猟友会の体制整備支援等を実施した。

【水道水源の保護】
- 水源地、浄水場、給水栓において水道法に基づき水質を定期的に検査し、安全性を確認した。

【生物多様性の保全】
- 荒廃森林緊急整備事業により里山林整備＝7.81ha を実施。
  （事業箇所 … 上伊佐沢～中伊佐沢、事業内容 … 下刈、除伐、枯損木伐倒）

【歴史文化遺産の継承】
- デジタルアーカイブに「長井市史ダイジェスト」項目を約 1000 件追加した。

【その他（自然とのふれあいに関すること）】
- まち歩き関係団体と合同でのゴミ拾いや、国・県との安全点検等を通して、フットパスや河川公園の管理を適切に行い、自然に触れられる環境の整備に努めた。
- あやめ公園でガーデニング講習会を開催するなど、公園に親しむ機会を設けた。

■ R8 年度以降の方針、課題

- 市行造林や公社造林を継続し、森林地域を保全する。
- 市内全ての民有林を水資源保全地域に指定するため市環境審議会、県環境審議会に諮る予定。
- 猟友会と連携し、赤外線カメラを搭載したドローンの活用を進めるほか、モーションセンサーカメラ、箱ワナの増台等により捕獲数増加を目指す。
- 置賜森林病害虫獣対策協議会の補助を受け、古代の丘の松枯れした木の伐採を行う。
- デジタルアーカイブに掲載する資料、特設ページのコンテンツ掲載数を増やし、文化財の普及に努める。
- 劣化状況により公園長寿命化計画を適宜更新しながら施設の修繕を進める。

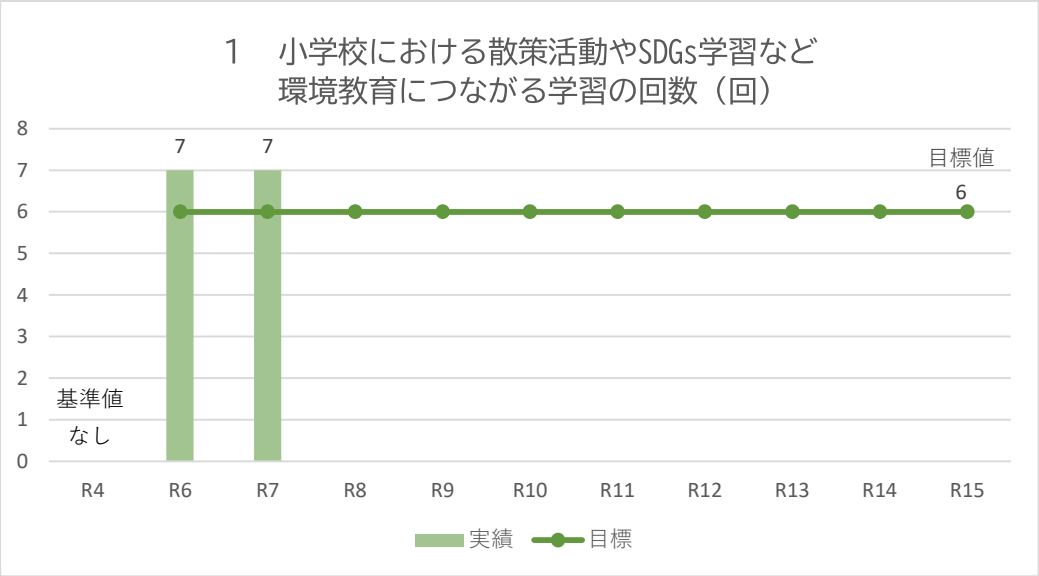
環境目標５　環境学習の推進

【目指す市の姿】

市民のだれもが環境に配慮した行動を実践しています。

【数値目標の進捗状況】

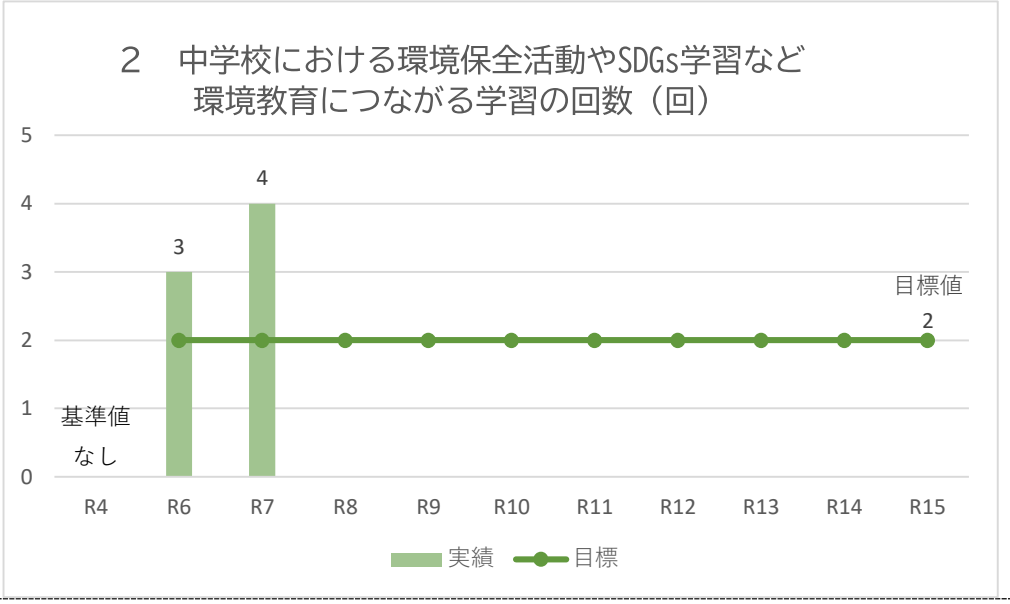
指　標　１	小学校における散策活動やＳＤＧｓ学習など環境教育につながる学習の回数（学校教育課）



☑達成・☐未達成

小学校では、各校が 5 学年次に実施する飯豊少年自然の家での宿泊学習の中で、自然や環境関する体験学習を実施したほか、長井ダム 1 日管理所長として市内小学校 1 校の 4 年生が水資源等に関する学習を行った。

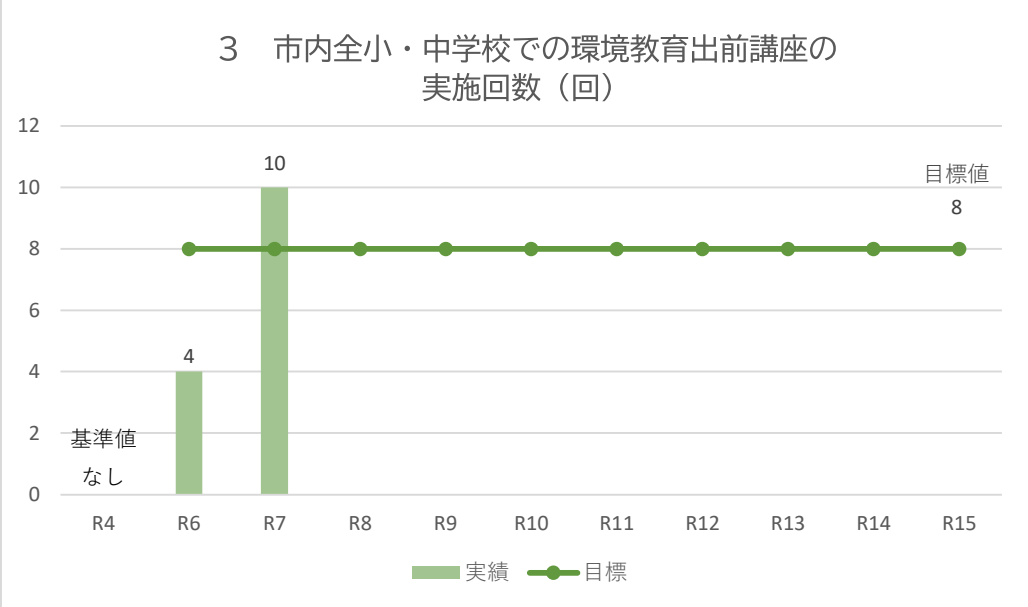
指　標　２	中学校における環境保全活動やＳＤＧｓ学習など環境教育につながる学習の回数（学校教育課）



☑達成・☐未達成

市内中学校 2 校では教科学習の中で環境について学んだ。また、校区内でのボランティア活動を通して環境保全についての学びを深めた。

指　標　３	市内全小・中学校での環境教育出前講座の実施回数 （総合政策課）



☑達成・☐未達成

市内小・中学校８校において環境教育出前講座を実施し、地球温暖化のしくみや自分たちにできることを考えるきっかけとしたほか、環境クイズを通して長井の良さを再発見する機会につなげた。

※　（参考データ）小学４年生 ８回、中学１年生 ２回 実施

Topics

令和７年度 長井市環境教室出前講座の様子









■ R7 年度の主な取組み

みんなで取り組む環境アクション！

⑨　環境について考えよう

⑩　みんなで一緒に取り組もう

市の施策：環境学習の機会の提供・環境保全活動の推進

- 各校に設置されている電力の見える化システムを通して、再生可能エネルギー利用に関する学習に取り組んだ。
- 脱炭素経営セミナー2025 を開催し、市内の先進企業からの事例紹介等を通して情報共有が図られた。
- 長井の未来をつくるアイデア会議では、中高生が SDGs を踏まえた提言を市に行った。
- 水と緑の感謝祭やながい百秋湖まつりを開催し、小学生等に水源地域に関する環境学習を行った。

■ R8 年度以降の方針、課題

- 各学校において環境学習に取り組むほか、全小中学校での環境教室出前講座を継続する。
- 脱炭素経営セミナーを継続し、事業者間の情報交換の場としても活用する。
- 市報や HP などを活用して積極的に情報発信を行う。
- 関係機関と連携して、市民に向けた環境保全や SDGs に関する学習の機会を増やす。

Topics

脱炭素経営セミナー2025（令和 7 年 8 月 5 日開催）





長井の未来をつくる中高生アイデア会議（令和 8 年 2 月 21 日開催）



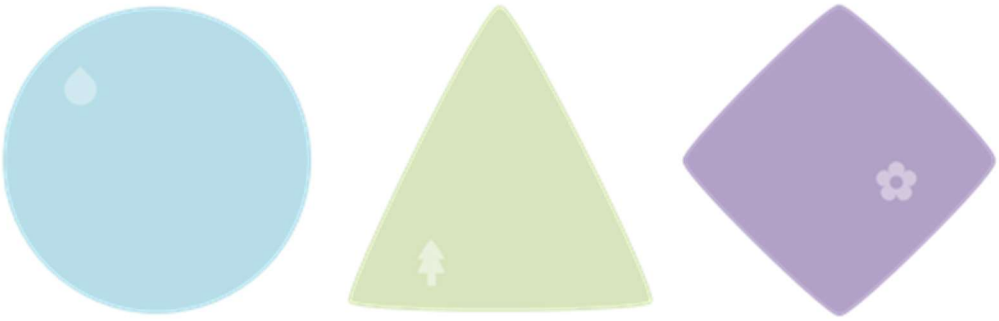


地　球　温　暖　化

対　策　実　行　計　画

区　域　施　策　編

Nagai City Environment Master Plan



地球温暖化対策実行計画　区域施策編

【長井市地球温暖化対策実行計画　区域施策編の位置づけ】

地球温暖化対策の推進に関する法律（平成 10 年法律第 117 号）第 19 条第 2 項に基づき、長井市を一つの「区域」として、温室効果ガスの排出を抑制するため、現状推計から施策に関する事項について定めたものです。

地球温暖化対策は、第 4 次長井市環境基本計画の取組みの柱であることから、一体のものとして策定しました。

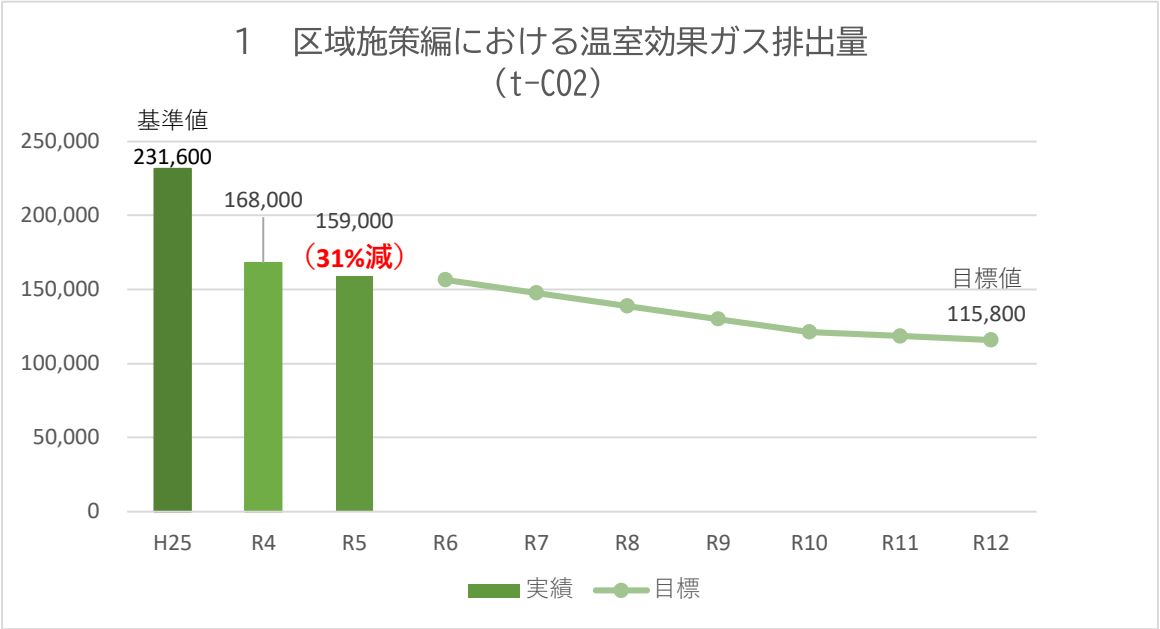
【削減目標】

温室効果ガス削減目標

基準年度		目標年度	
2013 年度（平成 25 年度）	→	2030 年度（令和 12 年度）	**50%削減**

【削減目標の進捗状況】

区域施策編における温室効果ガス排出量



☑達成・☐未達成

最新値（R5）は基準年度（H25）比 31%減となった。

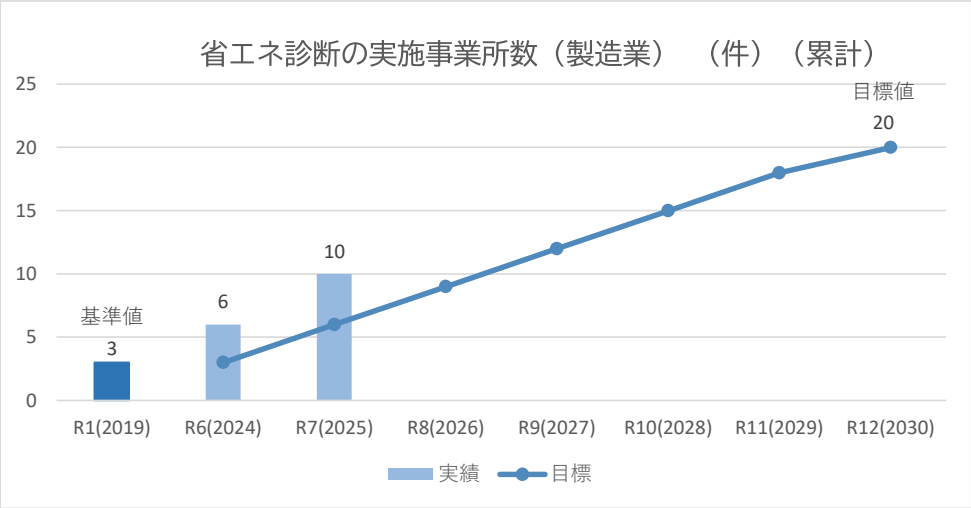
要因として、燃料価格の高騰や高効率家電等の普及による節電効果、再エネシフトによる電力の CO2 排出係数の低減化等が挙げられる。

※　本市区域における温室効果ガス排出量は、環境省が公表する自治体排出量カルテを採用しており、2 年ほど遅れて公表される（現時点での最新データは令和 5 年度値）。

各部門における省エネルギー活動

【数値目標の進捗状況】

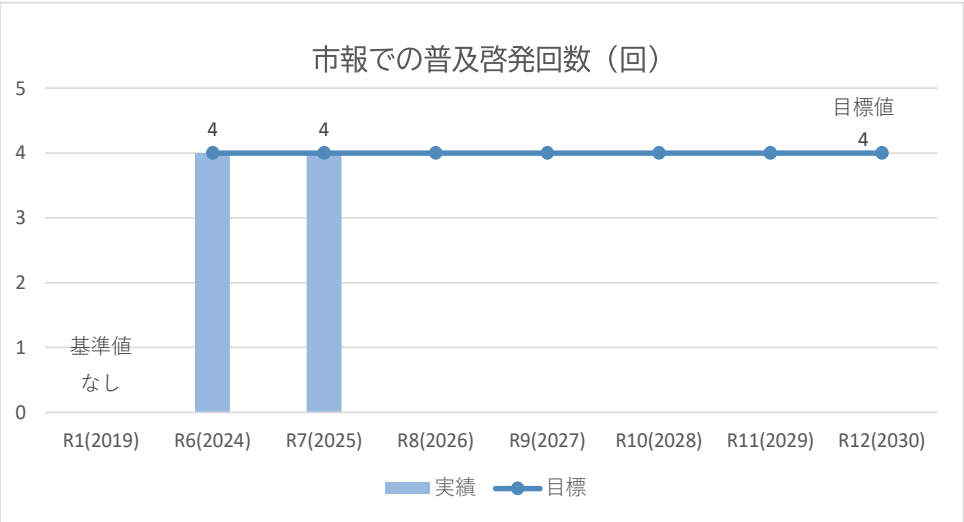
産業部門	省エネ診断の実施事業所数（製造業の事業所を対象）



☑達成・☐未達成

製造業における省エネ診断の実施事業所数は、地域脱炭素プラン推進事業費補助金を活用する際の要件にしていることから、目標達成に向けて順調に推移している。

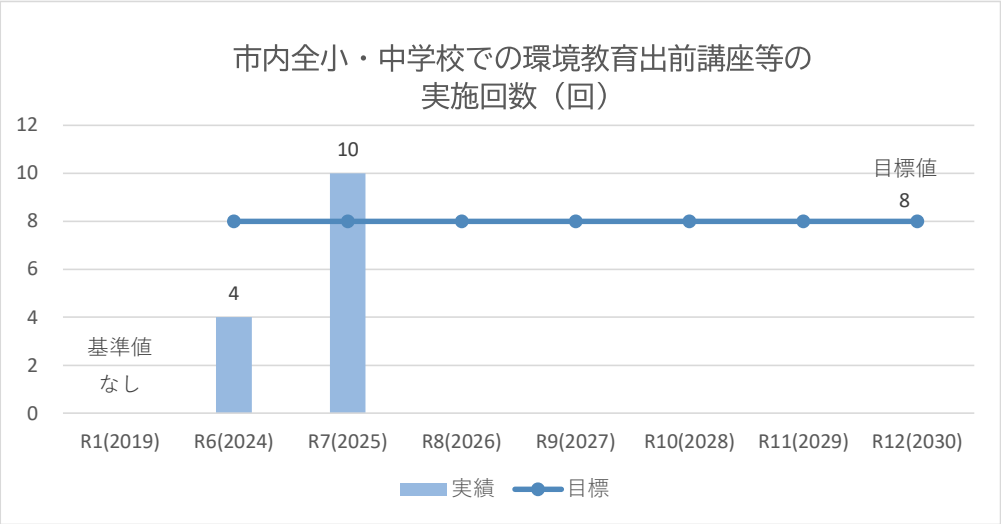
業務・その他部門	市報での普及啓発回数



☑達成・☐未達成

市報において 6 月、9 月、12 月、3 月の計 4 回、環境保全や再生可能エネルギーに係る普及啓発コラムを掲載した。

家庭部門	市内全小・中学校での環境教育出前講座等の実施回数



☑達成・☐未達成

市内小・中学校 8 校において環境教育出前講座を実施し、地球温暖化のしくみや自分たちにできることを考えるきっかけとしたほか、環境クイズを通して長井の良さを再発見する機会につなげた。

※　（参考データ）小学 4 年生 8 回、中学 1 年生 2 回 実施

■ R7 年度の主な取組み

市の施策：　省エネ行動の普及啓発、省エネ行動の実践等

- チラシの全戸配布や市ホームページを通して、地域脱炭素プラン推進事業費補助金に関する情報や暮らしに役立つ記事を掲載し周知を図った。
- 脱炭素経営セミナー2025 を開催し、市内の先進企業からの事例紹介等を通して情報共有の場を創出した。
- 環境教室出前講座を通して、市内の小中学生へ地球温暖化対策と省エネ行動の意義を伝えた。

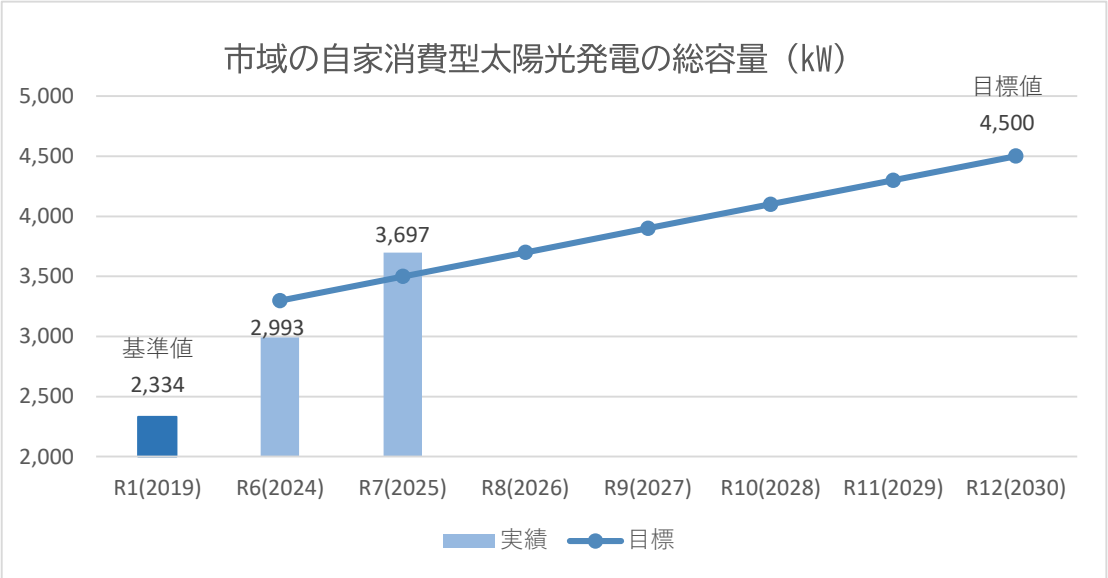
■ R8 年度以降の方針、課題

- 脱炭素経営のメリットを継続して周知していく。
- 地域脱炭素プラン推進事業費補助金により、事業者の脱炭素経営を支援する。
- 環境教室出前講座を継続する。

再生可能エネルギーの導入・拡大

【数値目標の進捗状況】

市域の自家消費型太陽光発電の総容量(kW)



☑達成・☐未達成

市域の自家消費型太陽光発電の総容量は、補助金利用者のほか市内事業者に聞き取り行い、把握し得る導入容量を積み上げにより算出した。

実績値は「再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法（情報公開ウェブサイト）」等を参照。

■ R7 年度の主な取組み

市の施策：　補助制度の創設

- 地域脱炭素プラン推進事業費補助金を継続し、自家消費型太陽光発電設備、蓄電池、木質バイオマス燃焼機器（薪、ペレットストーブ）の間接補助を実施した。

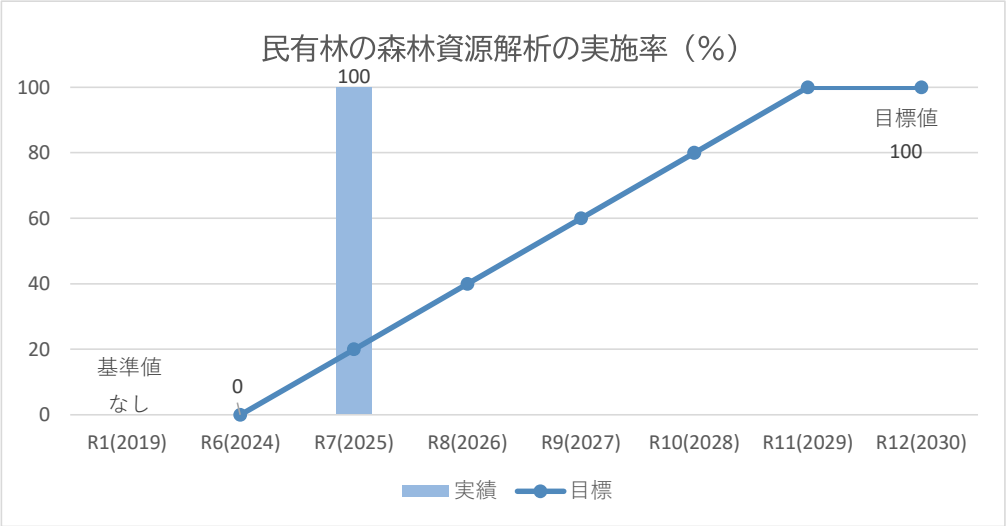
■ R8 年度以降の方針、課題

- 自家消費型太陽光発電設備の普及拡大のため、更なる周知が必要である。
- 補助金を活用して再エネ設備を設置した事例や、そのメリットを紹介するなど、より関心を引く記事の作成に努める。

森林吸収量の確保に向けた取組み

【数値目標の進捗状況】

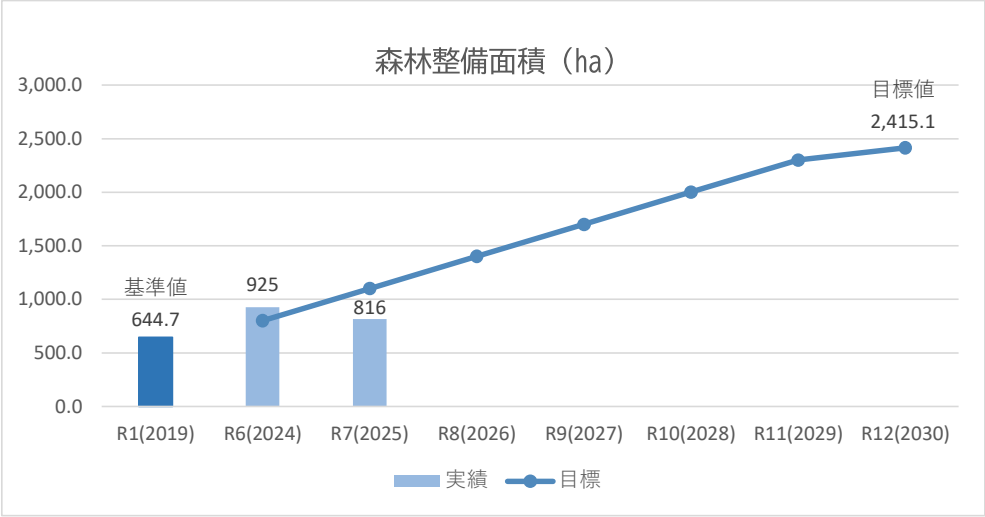
民有林の森林資源解析の実施率



☑達成・☐未達成

県及び他市町村との共同実施により、祝瓶山付近の一部を除く民有林において、森林資源解析を実施し目的を達成した。

森林整備面積（2013 年度以降）



☐達成・☑未達成

CO2 吸収源としての適正な森林整備について、実態にあった計上方法の確立を目指していく。

※　森林吸収量の算定には、2013 年度以降に整備した森林が対象となるため、林野庁が調査報告する「森林吸収源インベントリ情報整備事業「森林経営」対象森林率調査」を基に FM 率×森林面積で森林整備面積の推計値を算出。

■ R7 年度の主な取組み

市の施策：　適正な森林管理・啓発、木質バイオマス燃焼機器の導入補助

- 荒廃森林緊急整備事業により里山林整備　7.81ha を実施。
  （事業箇所：上伊佐沢～中伊佐沢、事業内容：下刈、除伐、枯損木伐倒）
- 地域脱炭素プラン推進事業費補助金を継続し、木質バイオマス燃焼機器の間接補助を実施した。

■ R8 年度以降の方針、課題

- 荒廃森林緊急整備事業を継続して実施する。令和 8 年度は寺泉地内 6.0ha を予定。
- 木質バイオマス燃焼機器導入に関しては、燃料転換や油漏れ流出事故の抑制にも効果があることから、普及を強化する。

Topics

令和 7 年度　長井市地域脱炭素プラン推進事業費補助金

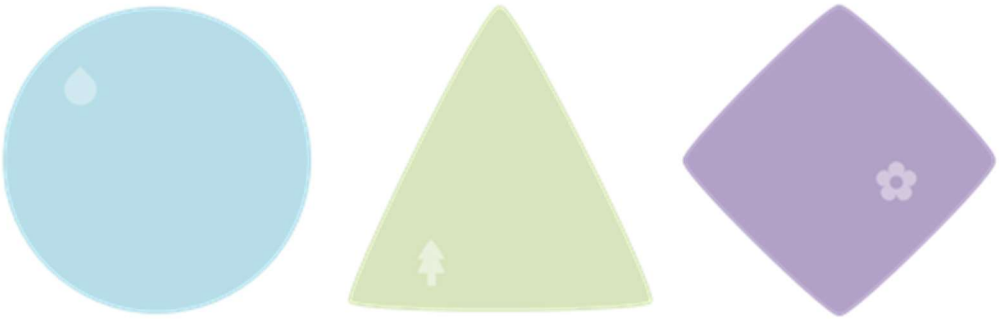


地　球　温　暖　化

対　策　実　行　計　画

事　務　事　業　編

Nagai City Environment Master Plan



地球温暖化対策実行計画　事務事業編

【長井市地球温暖化対策実行計画　事務事業編の位置づけ】

地球温暖化対策実行計画（事務事業編）は、地球温暖化対策の推進に関する法律（平成 10 年法律第 117 号）第 21 条第 1 項に基づき、長井市が自ら行う事務事業の中で、環境への配慮を徹底し、「事業所としての市」が環境負荷の低減に向けた取組みを率先して実行することにより、市民及び事業者等の環境配慮活動を促進するものです。

地球温暖化対策は、第 4 次長井市環境基本計画の取組みの柱であることから、一体のものとして策定しました。

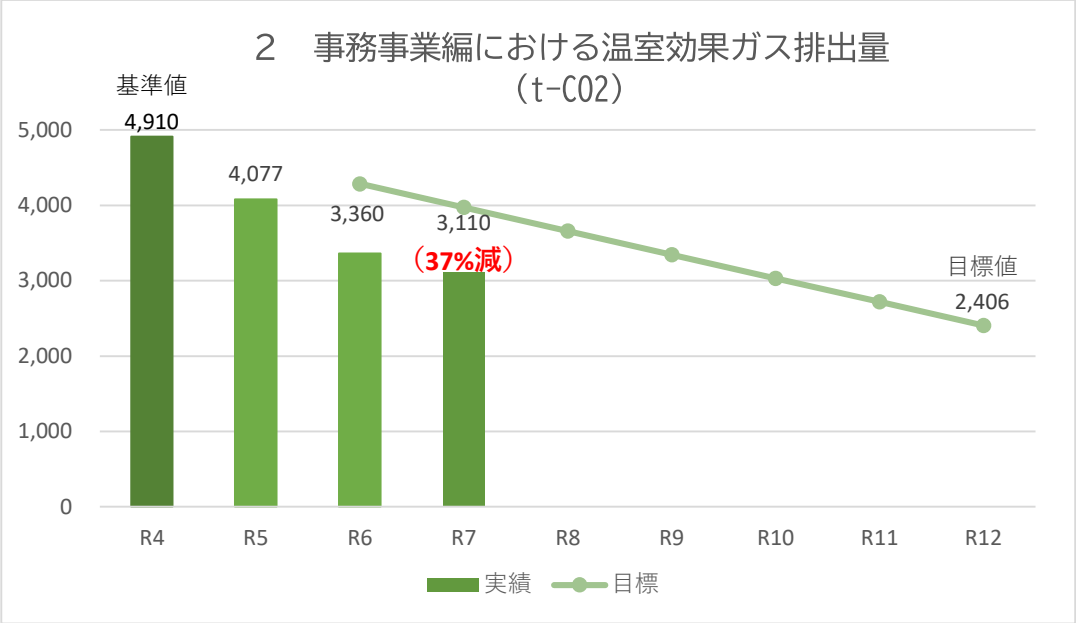
【削減目標】

温室効果ガス削減目標

基準年度		目標年度	
2022 年度（令和 4 年度）	→	2030 年度（令和 12 年度）	**51%削減**

【削減目標の進捗状況】

事務事業編における温室効果ガス排出量



☑達成・☐未達成

令和 7 年度値は、基準年度（R4）比 37%減となった。

エネルギー種別毎の CO2 排出量のうち、約 7 割が電力由来によるものである。

温室効果ガスの削減には、使用電力及び燃料の節減に加え、公共施設の電力を CO2 を排出しない再生可能エネルギー電力に切り替えていくことが有効である。

【温室効果ガスの総排出量】

単位（kg-CO2）

種類	令和７年度の実績値	割　合
二酸化炭素（CO2）	3,102,231	（99.75%）
メタン（CH4）	688	（0.02%）
一酸化二窒素（N2O）	6,048	（0.20%）
ハイドロフルオロカーボン（HFC）	907	（0.03%）
合　計	3,059,177	（100%）

※　端数処理の関係で、内訳と合計が一致しないものがあります。

エネルギー種別毎の CO2 排出量

エネルギー種別		単位	令和７年度の実績値	CO2 換算（kg-CO2）	割合
電力使用量		kwh	6,474,010	2,075,334	68%
庁舎燃料	灯油	ℓ	166,239	413,935	14%
	A 重油	ℓ	115,210	312,219	10%
	LPG	kg	424	1,270	0%
車両燃料	ガソリン	ℓ	67,797	157,289	5%
	軽油	ℓ	35,461	91,488	3%

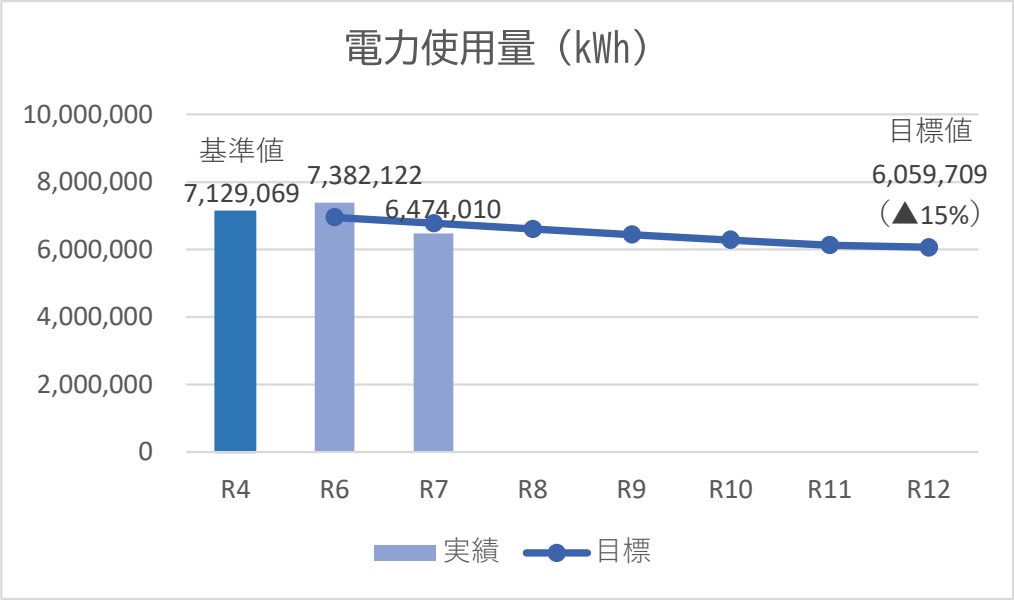
電力排出係数

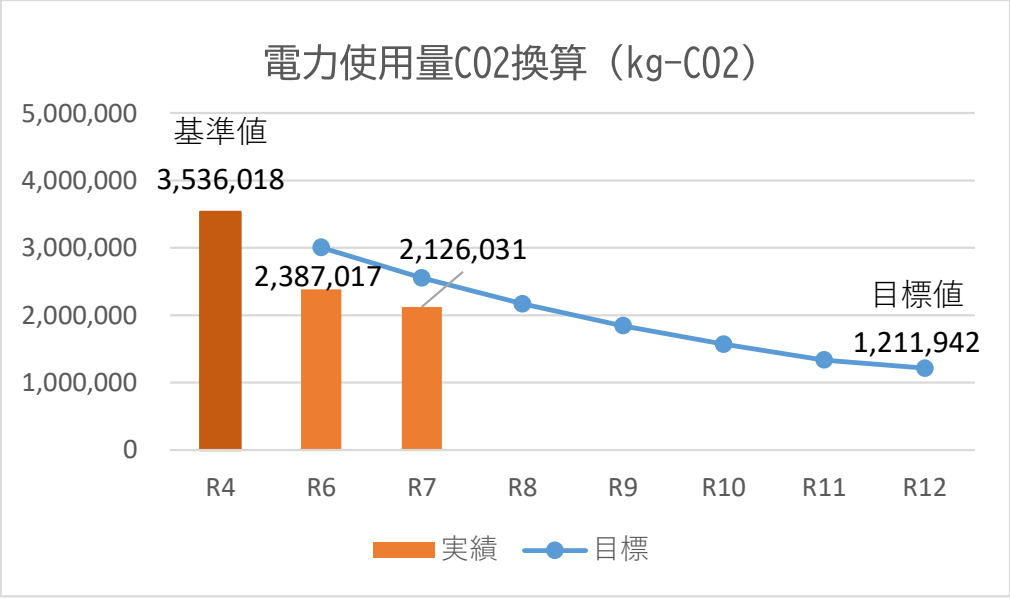
令和７年度の実績値
0.328 kg-CO2/kWh

エネルギー種別毎の削減に向けた取組み

【数値目標の進捗状況】

電力使用量



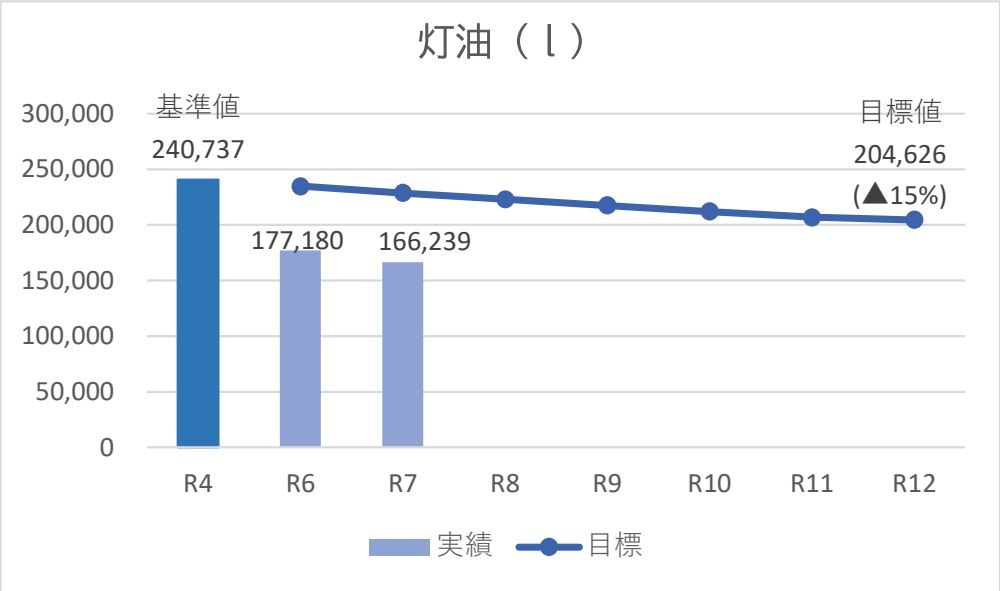


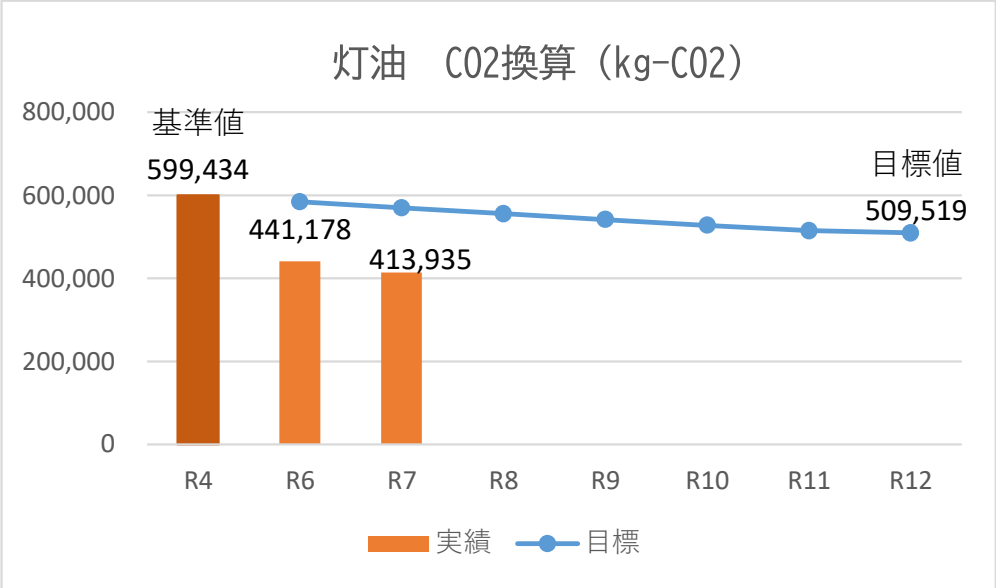
☑達成・☐未達成

電力使用量及び CO2 換算値は、前年度より減少し、目標達成に向けて順調に推移している。

【数値目標の進捗状況】

庁舎燃料：灯油

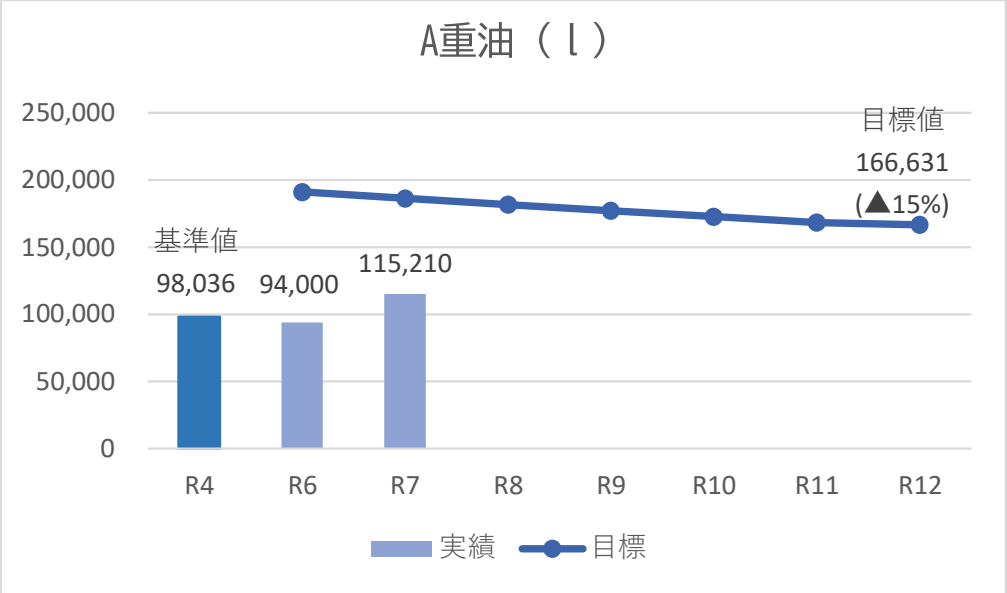


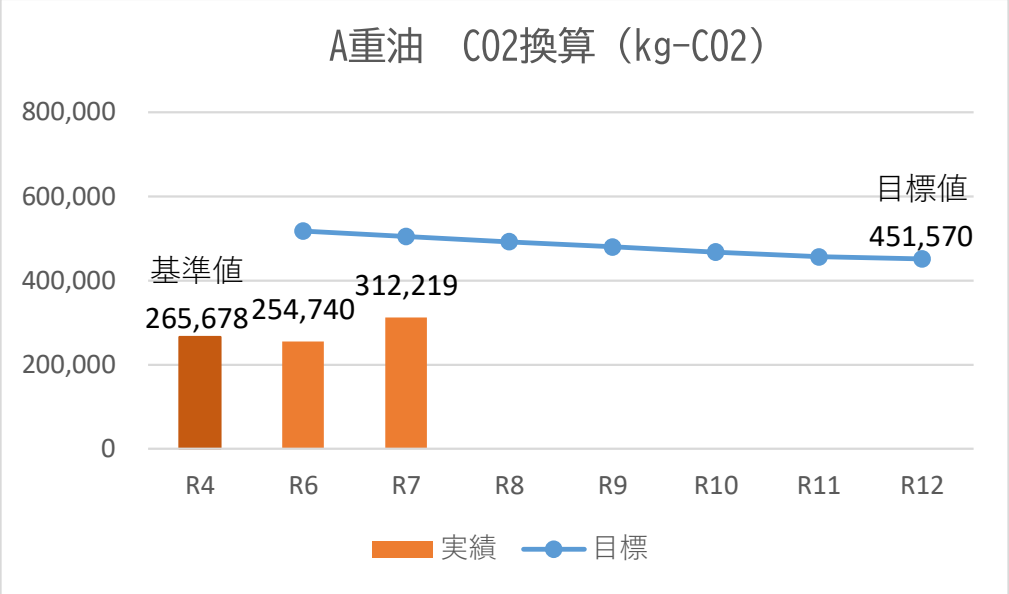


☑達成・☐未達成

灯油使用量及び CO2 換算値は、前年度より減少し、目標達成に向けて順調に推移している。

庁舎燃料： A 重油



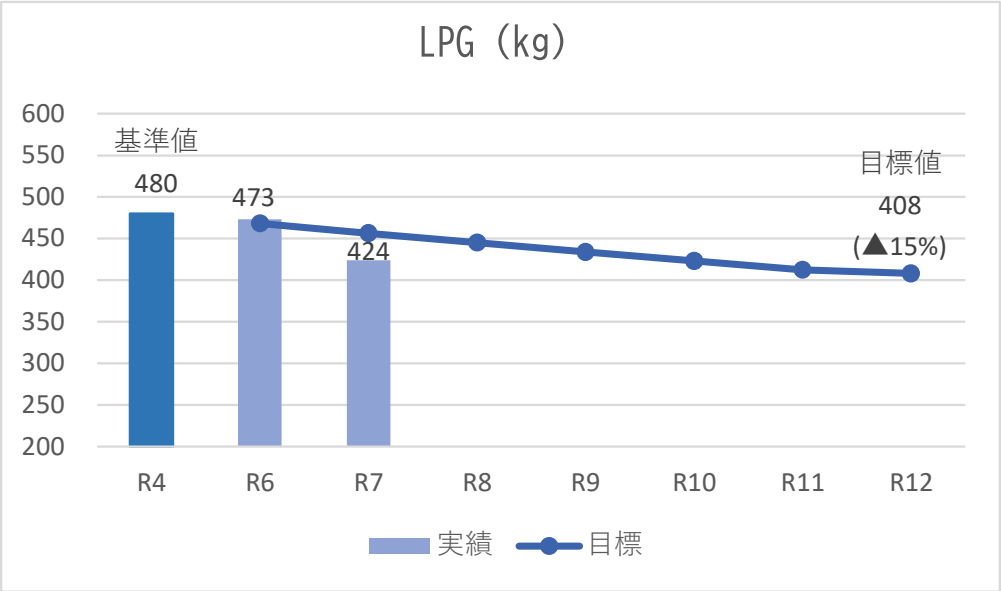


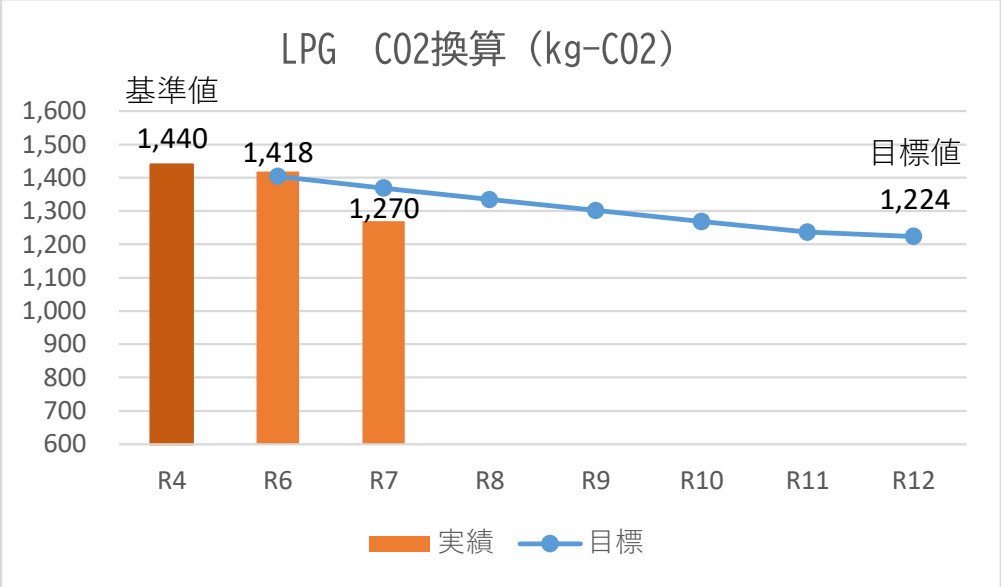
☑達成・☐未達成

重油使用量及び CO2 換算値は、前年度より増加したが、目標値は達成している。

【基準値と目標値について】
基準年度における A 重油使用量に誤りがあったため、計画上の基準値及び目標値は中間見直しの際に訂正することとし、その間の評価については正しい基準値と比較するものとします。

庁舎燃料：LPG

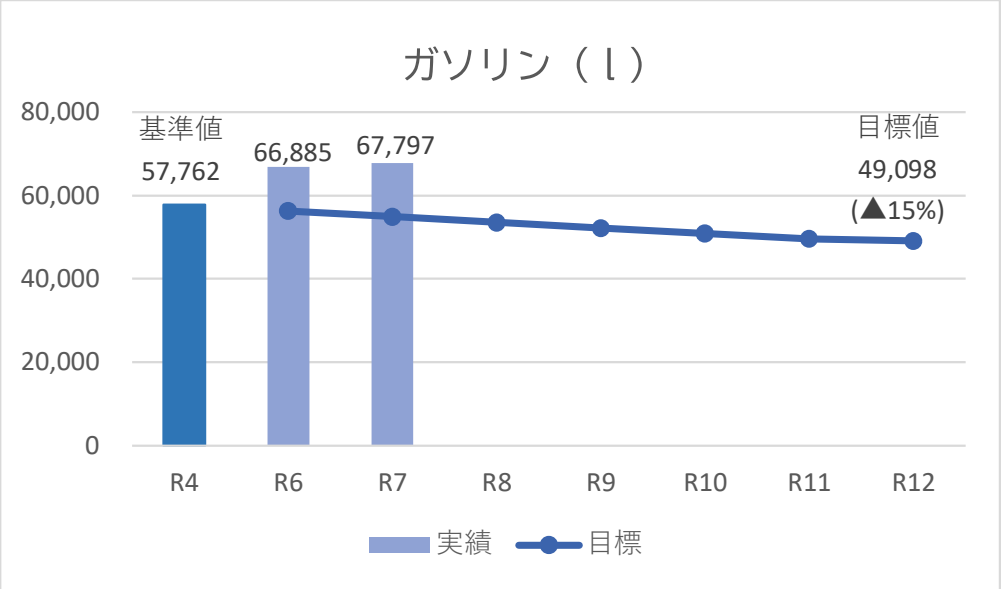


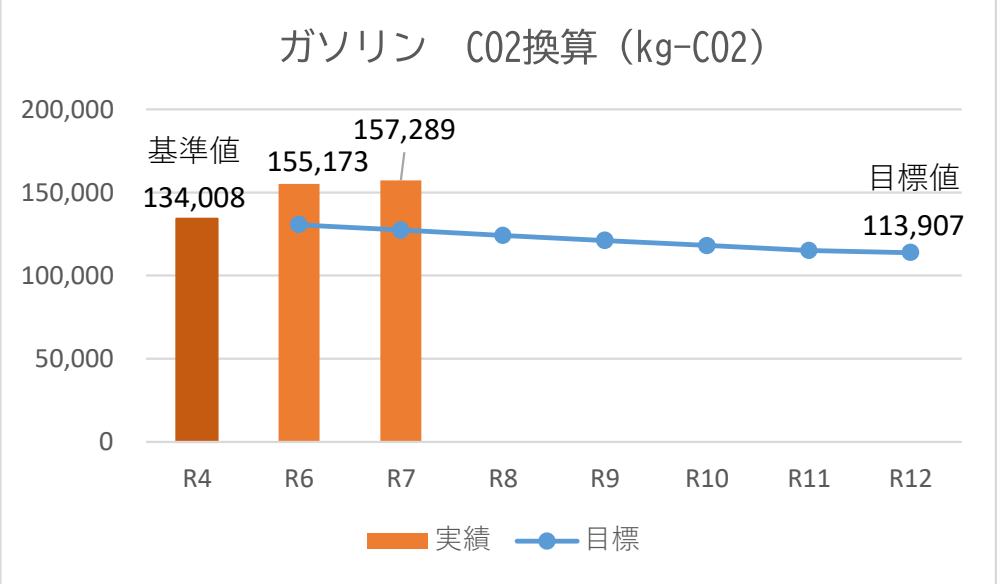


☑達成・☐未達成

LPG 使用量及び CO2 換算値は、前年度より減少し、目標達成に向けて順調に推移している。
※　LPG 使用量は、LPG（㎥）に環境省が定めた係数を掛け、重量（kg）換算した。

車両燃料：ガソリン

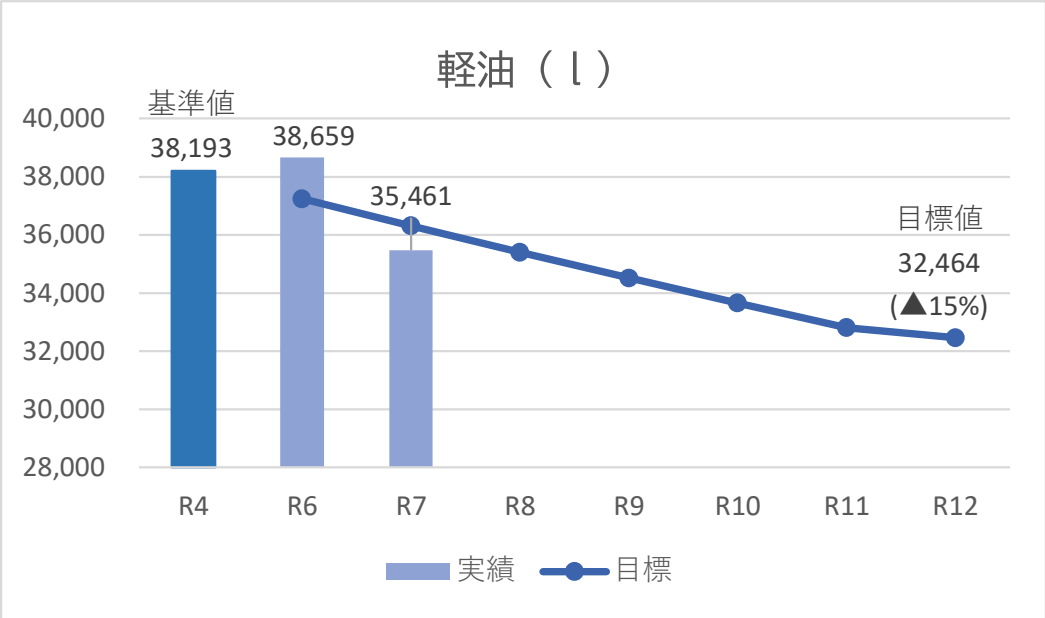


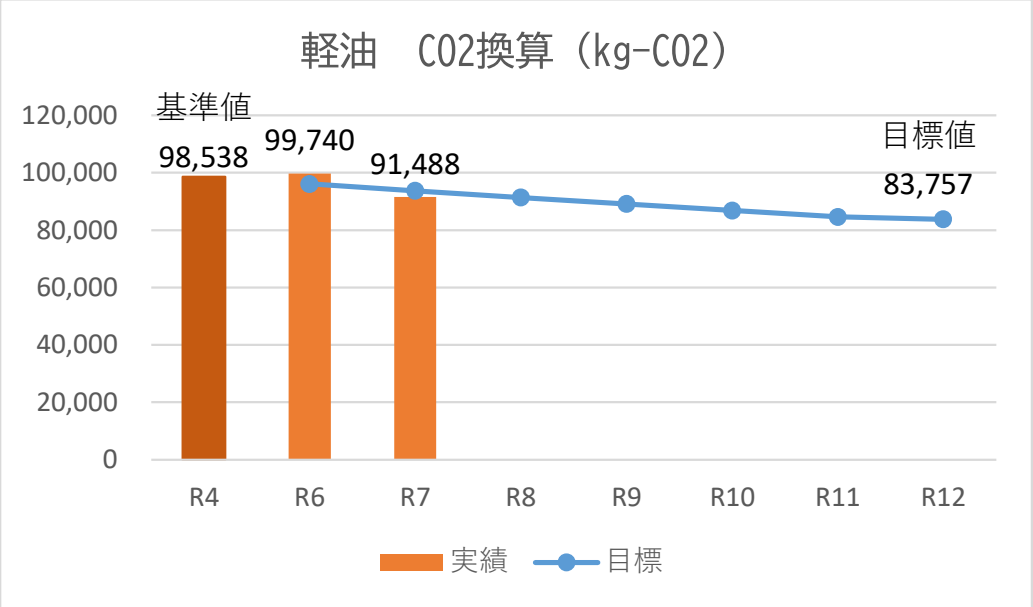


□達成・☑未達成

ガソリン使用量及び CO2 換算値は、前年度より増加したため、目標達成に向けて更なる取組みが必要である。

車両燃料：軽油





☑達成・□未達成

軽油使用量及び CO2 換算値は、前年度より減少し、目標達成に向けて順調に推移している。

■ R7 年度の主な取組み

市の施策：　高効率設備の導入・更新、職員一人ひとりの取組み 等

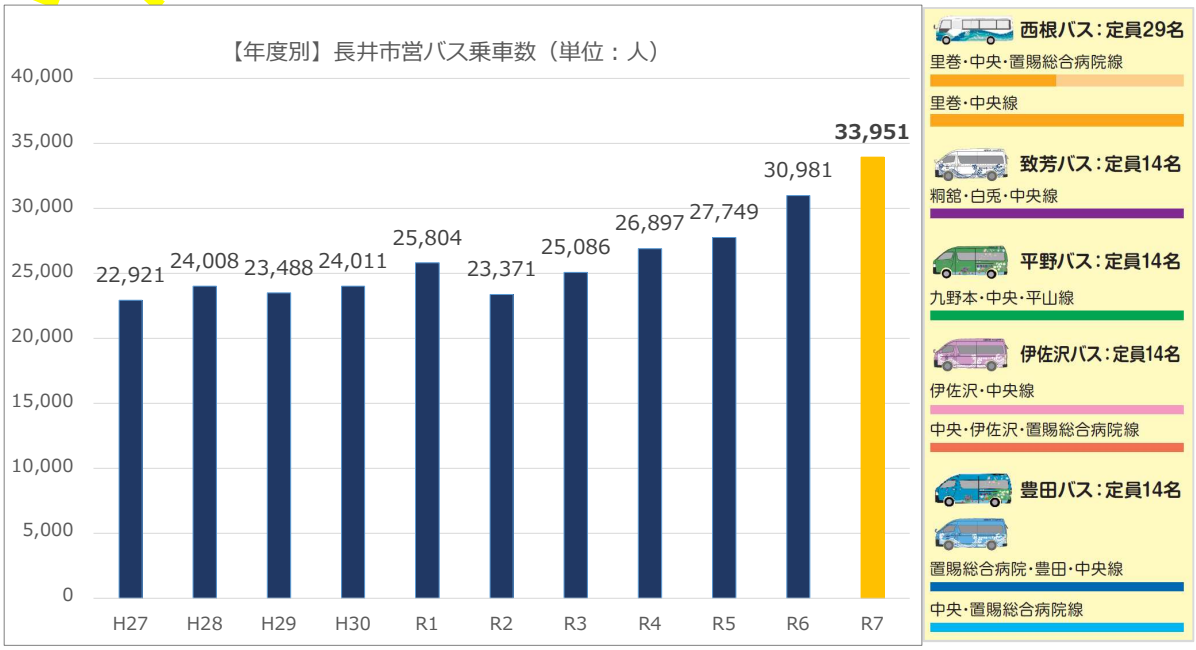
- 本庁舎の空調設備にデマンド制御装置を導入し、契約電力を超えない運用に努めた。
- 4/15～10/31 をクールビズ期間に設定し、冷房の時間設定等による節電を図った。
- 使用しない箇所の消灯、空調オフ、昼休みは窓口を除き全消灯の徹底を行った。
- 市庁舎の立地上、午前中は東側、午後は西側のブラインド等を適切に使用し、空調の節電に努めた。
- 毎週水曜日をノー残業デーとし、庁内放送にて呼びかけを行った。
- 施設の維持改修にあたっては、高効率空調設備への切り替え等により、化石燃料から電気へのエネルギー転換に努めた。

■ R8 年度以降の方針、課題

- 全庁的にエネルギー使用量の削減、省エネの徹底を図る。
- 学校施設において、順次 LED 照明への更新を実施する。
- 市が率先実行として、再エネ電力の地産地消を推進する。
- 市営バス、スクールバスの効率的な運行形態を図る。
- ノーマイカーデーを設定し、通勤手段に徒歩・自転車の利用や、市営バス・フラワー長井線など公共交通機関の利用を呼び掛ける。

Topics

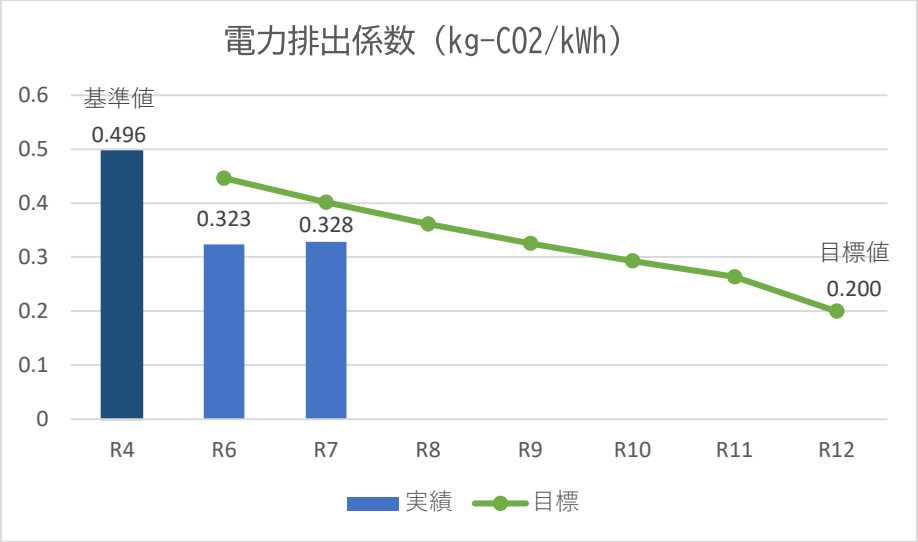
公共交通機関の利用促進（直近の市営バス乗車数の推移）



電力排出係数の削減に向けた取組み

【数値目標の進捗状況】

電力排出係数



☑達成・□未達成

※　近年の社会情勢等により、大手電力会社を含めた電気事業者の CO2 排出係数は上昇傾向にある。

■ R7 年度の主な取組み

市の施策：　市が契約する電気の電力排出係数低減化
地産電力の積極的な使用
公共施設や市有地への太陽光発電設備導入

- 市内小中学校 8 校において、地域の再生可能エネルギー100%電力を使用し見える化を継続した。
- 給食共同調理場に隣接する市有地において、オンサイト PPA による自家消費型太陽光発電設備（出力 167kW）を整備した。（R8.5 月から給食共同調理場で自家消費開始）

■ R8 年度以降の方針、課題

- 市が率先して再エネ電力の地産地消を実行し、推進していく。


みんなの環境アクションで
STOP！地球温暖化